



MOT/Phone POP-UP

操作・設定ガイド

1.40版

株式会社オフィス24

本書には本装置を正しくご利用いただく為の、接続・設置方法、注意・警告事項が記載されている為、お使いになる前に必ずお読みになり、方法や注意事項を十分ご理解いただいた上でご利用ください。

本書は紛失しないように、大切に保管してください。

- ◆ 本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。
- ◆ 本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 接続機器との組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◆ 『Windows® 7、Windows® 8、Windows® 10』は 米国 Microsoft Corporation の商品名称または登録商標です。
また、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です

1.	はじめに.....	5
1-1.	概要.....	5
1-2.	動作環境.....	5
1-3.	機能.....	6
1-4.	構成ウィンドウ.....	7
2.	インストール手順.....	8
2-1.	アプリケーションのインストール.....	8
	■インストーラの起動.....	8
2-2.	注意事項.....	9
3.	操作方法と設定手順.....	10
3-1.	起動と終了.....	10
	■初回起動.....	10
	■内線電話機の登録.....	11
	■登録状態の確認.....	11
	■終了.....	11
3-2.	再試行要求ダイアログ.....	12
	■認証失敗.....	12
	■認証要求.....	12
3-3.	メニュー.....	13
	■メニュー一覧.....	13
4.	接続設定.....	14
4-1.	MOT/PBX に接続する.....	14
	■一般設定.....	14
	■アカウント設定.....	14
4-2.	ソフトフォンの配下に接続する.....	16
	■一般設定.....	16
	■アカウント設定.....	16
5.	設定画面.....	18
5-1.	一般設定.....	18
	■着信情報ウィンドウ設定.....	20
	■外部連携先設定.....	21
	■MOT/PBX との連携.....	23
	■MOT/Cloud との連携.....	23
	■MOT サービスとの連携(直接接続).....	24
	■外部 URL との連携.....	25
	■外部アプリケーションとの連携.....	26
5-2.	アカウント設定.....	27
	■アカウントの削除.....	28
	■利用アカウントの切り替え.....	28
5-3.	FAX 機能設定.....	29

6.	着信時の動作.....	30
6-1.	着信メッセージ.....	30
6-2.	着信情報ウィンドウ.....	31
6-3.	MOT/Cloud.....	33
6-4.	外部 URL.....	34
6-5.	外部アプリケーション.....	34
7.	顧客情報の新規登録.....	36
8.	電話帳機能.....	37
8-1.	電話帳画面.....	37
8-2.	電話帳メニュー.....	38
8-3.	連絡先の登録.....	39
8-4.	グループの登録.....	39
8-5.	MOT/PBX 電話帳と手動同期.....	40
8-6.	クラウド電話帳と手動同期.....	40
8-7.	共通電話帳の自動同期.....	41
8-8.	電話帳のインポート.....	42
	■電話帳形式に「SAXA」を選択した場合.....	43
	■電話帳形式に「ナカヨ」を選択した場合.....	44
8-9.	電話帳のエクスポート.....	45
8-10.	連絡先の検索.....	46
9.	通話履歴の表示.....	47
9-1.	通話履歴ウィンドウ.....	47
9-2.	通話履歴のエクスポート.....	49
10.	端末登録状態の変更.....	50
10-1.	現在の端末登録状態の表示・変更.....	50
11.	ソフトウェアの更新.....	51
11-1.	アップデート確認.....	51
11-2.	最新バージョンにアップデート.....	51
12.	ソフトウェアのバージョン情報表示.....	52
12-1.	バージョン情報を表示する.....	52
13.	FAX 送信機能.....	53
13-1.	FAX 送信ウィンドウの表示.....	53
13-2.	送信先 FAX 番号の入力.....	54
13-3.	短縮番号の登録.....	55
	■短縮番号の表示.....	55
13-4.	FAX 送受信履歴ウィンドウ.....	56
	■履歴選択発信.....	56
13-5.	FAX 送付状を添付する.....	57
13-6.	FAX 送信.....	58
14.	FAX 受信機能.....	59
14-1.	通知時自動受信.....	59

14-2.	手動受信	60
14-3.	起動時自動受信	60
15.	FAX 送受信履歴	61
	■送受信履歴ウィンドウ	61
16.	仕様	63

1. はじめに

1-1. 概要

MOT/Phone POP-UP は、SIP 電話機(MOT/Phone)と MOT/PBX と連携して着信時に相手側の情報を簡易的に表示し、他のアプリケーションやサービスとの連携を行う為のソフトウェアです。

本説明書は、MOT/Phone POP-UP の機能と操作方法について説明します。

*表示イメージ等、本書の内容は事前の告知なく変更される場合がございます事、ご了承願います。

1-2. 動作環境

項目	機能説明
OS	Windows 7(32/64bit)、 Windows 8(32/64bit)、 Windows10(32/64bit)
CPU	Intel Pentium4/Core 2 Duo:/Core Solo 1GHz 以上推奨 (電話クライアント推奨環境)
メモリ	1GB 以上推奨(電話クライアント推奨環境)
JVM	JRE6 Update 18~、JRE7、8(本ソフトウェアは Java を利用しております。)
接続先	MOT/Phone Windows 版、NAKAYO ST101A SAXA IP-NetPhone SX、SAXA IP-NetPhone SX II
その他 アドレス設定	電話機 SAXA IP-NetPhone または NAKAYO ST101A を利用する場合は、PC に固定アドレスを付与する必要があります。

表中の動作はバージョン 4.6 以降の動作となります。

※未記載の OS は未確認となります。

	Windows 7 32bit	Windows 7 64bit	Windows 8 32bit	Windows 8 64bit	Windows 10 32bit	Windows 10 64bit
Java6(JRE6) 32bit	○		—	—	—	—
Java6(JRE6) 64bit	—	×	—	—	—	—
Java7(JRE7) 32bit	○	○			—	—
Java7(JRE7) 64bit	—	○※			—	—
Java8(JRE8) 32bit	○				○	
Java8(JRE8) 64bit				○		○

※ Java7(JRE7) 64bit, Java8(JRE8)64bit をご利用の場合は別途 64bit 対応版をご利用ください。

それ以外は、OS に関わらず 32bit 版をご利用下さい。

1-3. 機能

本アプリケーションで提供する機能は以下になります。

項目名称	機能説明
設定	アプリケーションの起動設定や着信情報ウィンドウの表示タイミング、表示位置等の設定を行います。
アカウント登録	アプリケーションが接続するMOT/PBXまたはMOT/TELのアドレス、ユーザID、パスワード等の設定を行います。
顧客情報登録	顧客情報を登録する画面を表示します。
電話帳	電話帳の表示・登録を行います。
通話履歴表示	通話の履歴を表示します。
状態表示	MOT/PBX または MOT/TEL の端末登録状態を表示し、端末登録/登録解除を行います。
アップデート確認	アプリケーションの最新バージョンを確認、アップデートを行います。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。
FAX 機能	PDF、TIFF ファイルを FAX として送信します。
FAX 送受信履歴	FAX の送受信履歴を表示します。
FAX 受信	FAX の手動受信を行います。
終了	アプリケーションを終了します。
着信情報ウィンドウ内機能	
情報表示	着信相手の情報および前回通話者、担当者の情報を表示します。
対応履歴	着信相手に対する対応履歴画面を表示します。
WEB 検索	着信相手の情報を元に WEB 検索を行います。
連絡先編集	顧客情報を編集する画面を表示します。
詳細表示	着信相手の詳細情報の画面を表示します。

1-4. 構成ウィンドウ

MOT/Phone POP-UP は以下のウィンドウで構成されます。



項目	機能説明
着信情報表示ウィンドウ	着信時もしくは通話開始時に起動するメインウィンドウ
着信ポップアップ	着信時にポップアップします。(初期値:非表示)
常駐アイコン	本アプリケーションの常駐アイコン

※MOT/Phone についての説明は別紙「MOT/Phone Windows 版 操作・設定ガイド」をご参照ください。

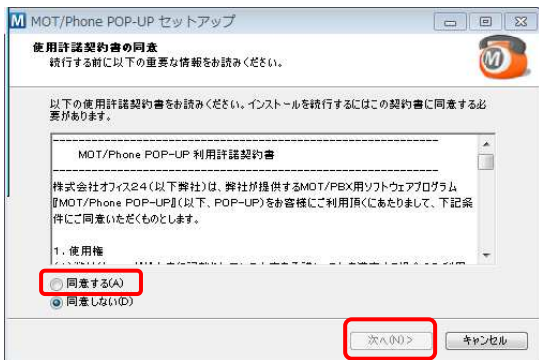
2. インストール手順

2-1. アプリケーションのインストール

■インストーラの起動



1. インストーラをダブルクリックすると、MOT/Phone POP-UP セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードが表示されると、起動中の MOT/Phone Windows 版および MOT/Phone POP-UP は自動的に終了します。



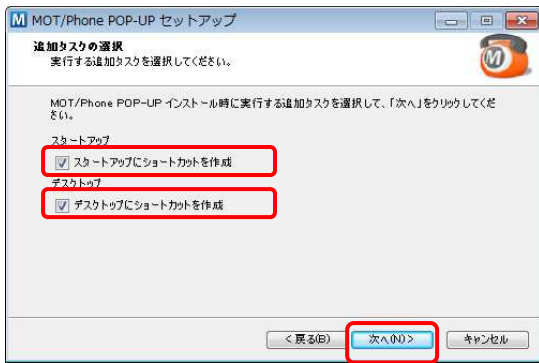
2. 利用許諾契約書をよくお読みください。
[同意する]を選択すると[次へ]がクリックできるようになります。クリックするとセットアップを続行します。



3. MOT/Phone POP-UP をインストールするフォルダを選択します。フォルダが存在しない場合は自動的に作成されます。
[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



4. MOT/Phone POP-UP のプログラムグループを設定します。
[次へ]をクリックし、セットアップを続行します。



- Windows 起動時に MOT/Phone POP-UP を自動起動したい場合は[スタートアップにショートカットを作成]にチェックを入れます。

デスクトップに起動用ショートカットを作成したい場合は[デスクトップにショートカットを作成]にチェックを入れます。

設定後、[次へ]をクリックします。



- 設定を確認し、[インストール]をクリックします。



- インストールが完了しました。

セットアップウィザード終了後にアプリケーションを起動したい場合は[MOT/Phone POP-UP を起動]にチェックを入れて[完了]をクリックします。

2-2. 注意事項

ゲストユーザーでは正常にご利用できません。

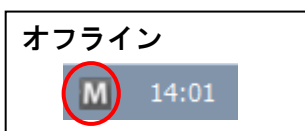
ゲストユーザーでは利用しないで下さい。

3. 操作方法と設定手順

3-1. 起動と終了

■初回起動

1. アプリケーションを起動すると、アカウント登録ダイアログが表示されます。
2. 「連動電話機」を選択します。
 - ・ 「SIP フォン/ソフトフォン」: SIP フォンまたは MOT/Phone Windows(v6.2 未満)と連動する場合に選択します。SIP フォンと連動する場合は PC に固定アドレスを設定する必要があります。
 - ・ 「ソフトフォン(配下で利用)」: MOT/Phone Windows (v6.2 以上)と連動する場合に選択します。
 - ・ 「連動しない」: ソフトフォンを使用せず、PCに固定 IP アドレスが設定できない場合に選択します。グループ着信時に情報ウィンドウを表示します。(着信は同一着信グループの SIP フォン等で受けます)
3. 「テナントコード」に、MOT/TEL で使用するテナントコードを入力します。MOT/PBX と接続する場合は入力しません。
4. 「内線番号」に、アプリケーションが使用する内線番号を入力します。(例) 301
5. 「パスワード」に、内線番号に対応するパスワードを入力します。
6. 「連動電話機」で「SIP フォン/ソフトフォン」または「連動しない」を選択した場合、「サーバアドレス」に使用する MOT/PBX の IP アドレスを、「HTTP ポート番号」に HTTP ポート番号を入力します。
MOT/TEL を利用する場合は、MOT/TEL の設定情報シートに記載されているサーバアドレスを入力します。
連動電話機で「ソフトフォン(配下で利用)」を選択した場合は、「127.0.0.1」を入力します。
7. 「登録」ボタンを押すと、アカウント情報を保存し、指定された MOT/PBX または MOT/TEL に端末登録を行います。



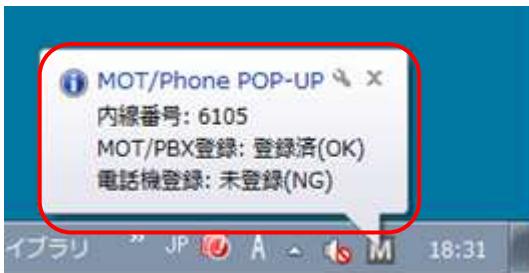
8. タスクトレイにアイコンが表示されます。サーバへの番号登録が成功し、内線側電話機の準備が完了した(電話が着信できる状態)場合は緑色、失敗またはアカウント登録をキャンセルした場合は灰色のアイコンとなります。



■内線電話機の登録

連動する内線電話機の登録が完了すると、タスクトレイからメッセージがポップアップします。番号登録を削除した際も同様に表示されます。

※ 内線電話を接続する場合、MOT/PBXまたはMOT/TELへの登録が成功している必要がございます。



■登録状態の確認

タスクトレイのアイコンをクリックすると、設定した内線番号と、現在の番号登録状態が表示されます。

[MOT/PBX 登録][電話機登録]がともに[登録済]になると、通話を行うことができます。



アプリケーションをソフトフォン配下で利用する場合には左図のように表示されます。

[内線番号]にはソフトフォンが MOT/PBX へ登録した内線番号が表示されます。



① 右クリック

② 押下する

■終了

1. タスクトレイのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
2. メニューから「閉じる」を選択します。
3. 自動的にオフラインとなり、MOT/PBX に端末登録削除パケットを送信します。その後、タスクトレイからアイコンが消去されます。



アプリケーションをソフトフォンの配下で利用している場合、端末登録を削除するにはソフトフォンを終了してください。

3-2. 再試行要求ダイアログ

サーバ認証に失敗したり認証情報が未入力である場合、再試行のためのダイアログが表示されます。



■認証失敗

1. パスワードが間違っている場合は認証失敗となり、再入力ダイアログが表示されます。
2. 正しい設定を入力し[OK]を押すと、入力情報を使用して認証を行います。認証に成功するとタスクトレイのアイコンがオンライン状態に変わります。
その際に[パスワードを保存]にチェックを入れると、新たに設定したパスワードを設定情報として保存します。

■認証要求



1. パスワードを保存せずにアカウントを登録した場合、アプリケーション起動時に毎回パスワード要求ダイアログが表示されません。
2. パスワードを入力して[OK]を押すと認証を行います。認証に成功するとタスクトレイのアイコンがオンライン状態に変わります。
その際に[パスワードを保存]にチェックを入れるとパスワードが保存され、以降の起動時にはこのダイアログが表示されなくなります。

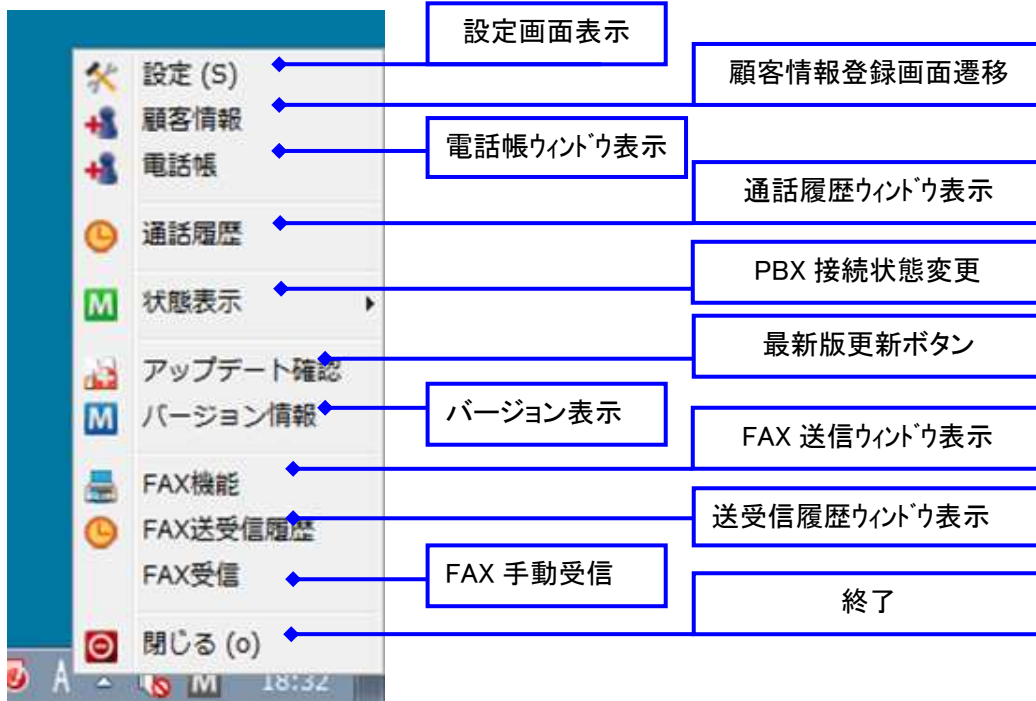
3-3. メニュー

■メニュー一覧

タスクトレイのアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。

メニューには、以下の項目があります。

各項目をクリックすることにより、各機能を利用する事ができます。



項目名称	機能説明
設定	アプリケーションおよびアカウント情報の設定を行います。
顧客情報	外部連携先の設定に応じて、MOT/PBX、MOT/Cloud または指定の外部サイトの画面を表示、もしくは指定アプリケーションの起動を行います。
電話帳	PCに保存されている電話帳情報を表示します。外部連携先の「電話帳連携機能を利用する」を有効にしている場合は指定のサイト・アプリを表示します。
通話履歴	PCに保存されている通話履歴を表示します。
状態表示	現在の端末登録状態を表示します。またMOT/PBX または MOT/TEL に対し、端末登録・登録解除を行います。 ※「ソフトフォン(配下で利用)」に設定している場合は表示されません。
アップデート確認	アプリケーションの最新バージョンを確認、アップデートを行います。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。
FAX 機能	FAX 送信を行うウィンドウを表示します。 ※本機能は BRI2400,e-Gateway7510 では使用できません。
FAX 送受信履歴	FAX の送受信履歴を表示します。 ※本機能は BRI2400,e-Gateway7510 では使用できません。
FAX 受信	FAX 受信用メールボックスから手動で受信を行います。 ※本機能は BRI2400,e-Gateway7510 では使用できません。
閉じる	アプリケーションを終了します。

4. 接続設定

4-1. MOT/PBX に接続する

MOT/PBX に本アプリケーションを接続し、その下にSIP電話機を接続する場合は以下のように設定します。



■一般設定

●SIP Phone と連動する場合
電話機の利用する SIP サーバアドレスとして MOT/Phone POP-UP をインストールした PC の IP アドレスを設定し、SIP ポート番号には当「利用 SIP ポート」の値を設定します。

■アカウント設定

利用する内線番号、パスワードと、MOT/PBX または MOT/TEL のアドレスを入力します。MOT/TEL を利用する場合、テナントコードも入力します。

アカウントを登録し、**[次]**ボタンを押下すると確認画面が表示されます。
 確認画面で入力した設定項目を確認後、**[登録]**を押す事で設定が保存されます。
 連動電話機の設定を変更した場合はアプリケーションを再起動してください。



項目名称	機能説明
利用アカウント	使用するアカウントを選択します。
内線番号	使用する内線番号を入力します。
サーバアドレス	MOT/PBX のアドレスを入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	MOT/TEL に接続する場合、使用するテナントコードを入力します。
SIP ポート番号	サーバの SIP ポート番号を入力します。 デフォルト値は 5060 番です。
認証 ID	認証に使用する ID を入力します。 空欄の場合は内線番号を使用します。
HTTP ポート番号	MOT/PBX の HTTP ポート番号を入力します。 デフォルト値は 18080 番です。
STUN サーバ利用	NAT 越えを有効にします。
キーブアライブ確認間隔	キーブアライブ確認を行う間隔を入力します。
設定初期化	選択中アカウントの設定を削除します。

4-2. ソフトフォンの配下に接続する

本アプリケーションを同一PC内の Windows ソフトフォンの下に接続する場合は以下のように設定します。
 ※MOT/PBX との通信はソフトフォンが行います。本機能は Windows ソフトフォン v6.2 以上で利用可能です。



■一般設定

●Win 版電話クライアントの「POPUP ポート」と同値にします。

「ソフトフォン(配下で利用)」を選択します。

Windows 版電話クライアント設定画面

クライアントSIPポート 5090

POPUPアドレス 127.0.0.1

POPUPポート 5080

■アカウント設定

●Win 版電話クライアントの「クライアント SIP ポート」と同値にします。

ソフトフォンに設定する内線番号と、MOT/TEL を利用する場合はテナントコードを入力します。
 サーバアドレスには 127.0.0.1 と入力します。

設定反映ボタン

アカウントを登録し、[次]ボタンを押下すると確認画面が表示されます。
 確認画面で入力した設定項目を確認後、[登録]を押す事で設定が保存されます。
 連動電話機の設定を変更した場合はアプリケーションを再起動してください。

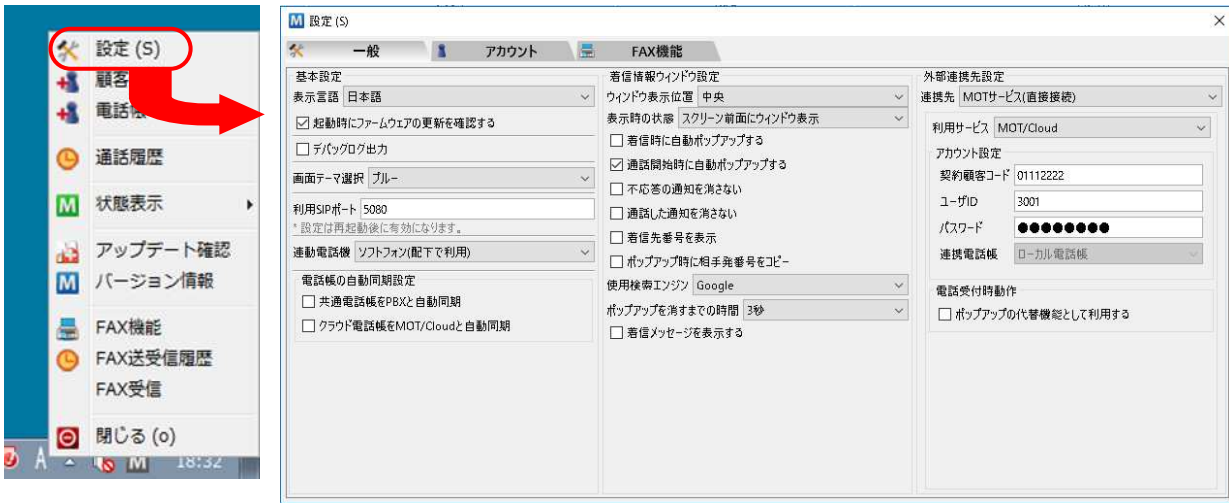


項目名称	機能説明
利用アカウント	使用しません。(ソフトフォンの利用アカウントを変更するだけで利用する内線番号、PBX を切り替えることが可能です)
内線番号	ソフトフォンが使用する内線番号を 1 つ入力します。(ソフトフォンが利用可能になるまでのデフォルト値として使用します)
サーバアドレス	127.0.0.1 を入力します。
パスワード	使用しません。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	MOT/TEL に接続する場合、使用するテナントコードを入力します。
SIP ポート番号	ソフトフォンの SIP ポート番号を入力します。 デフォルト値は 5090 番です。
認証 ID	使用しません。
HTTP ポート番号	MOT/PBX の HTTP ポート番号を入力します。 デフォルト値は 18080 番です。
STUN サーバ利用	使用しません。
キーアライブ確認間隔	使用しません。
設定初期化	選択中アカウントの設定を削除します。

5. 設定画面

タスクトレイのメニューから「設定」の項目をクリックすると、設定メニューウィンドウが表示されます。

左部の設定メニュー項目を選択すると、右部に各項目用の設定画面が表示されます。



項目名称	機能説明
一般	起動設定や着信情報ウィンドウの表示タイミング、位置等の設定を行います。
アカウント	接続先アドレス、内線番号、パスワード等の設定を行います。
FAX 機能	FAX 送受信に使用するメールサーバ、ID 等の設定を行います。

5-1. 一般設定

自動起動設定、着信情報ウィンドウの表示タイミング、位置等の設定を行います。

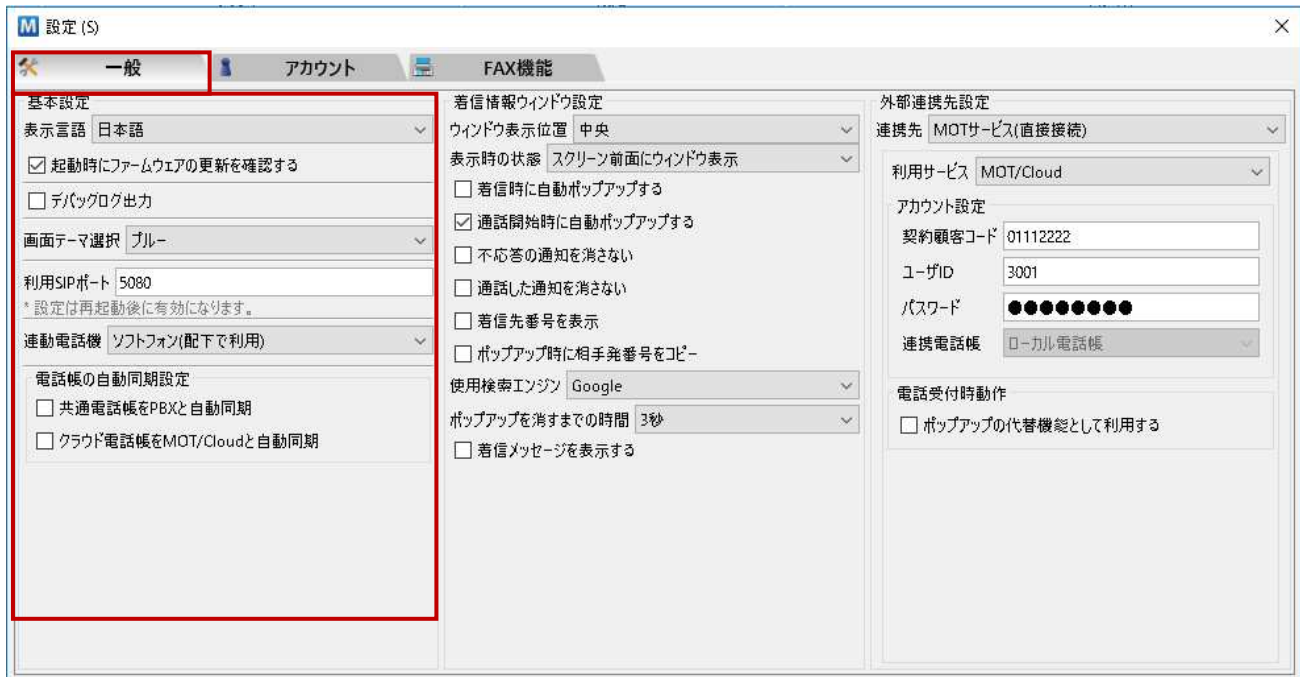
表示された設定ウィンドウの[一般]を選択します。

設定変更は即座に反映されます。一部の項目は、次回の起動時に有効になります。



■基本設定

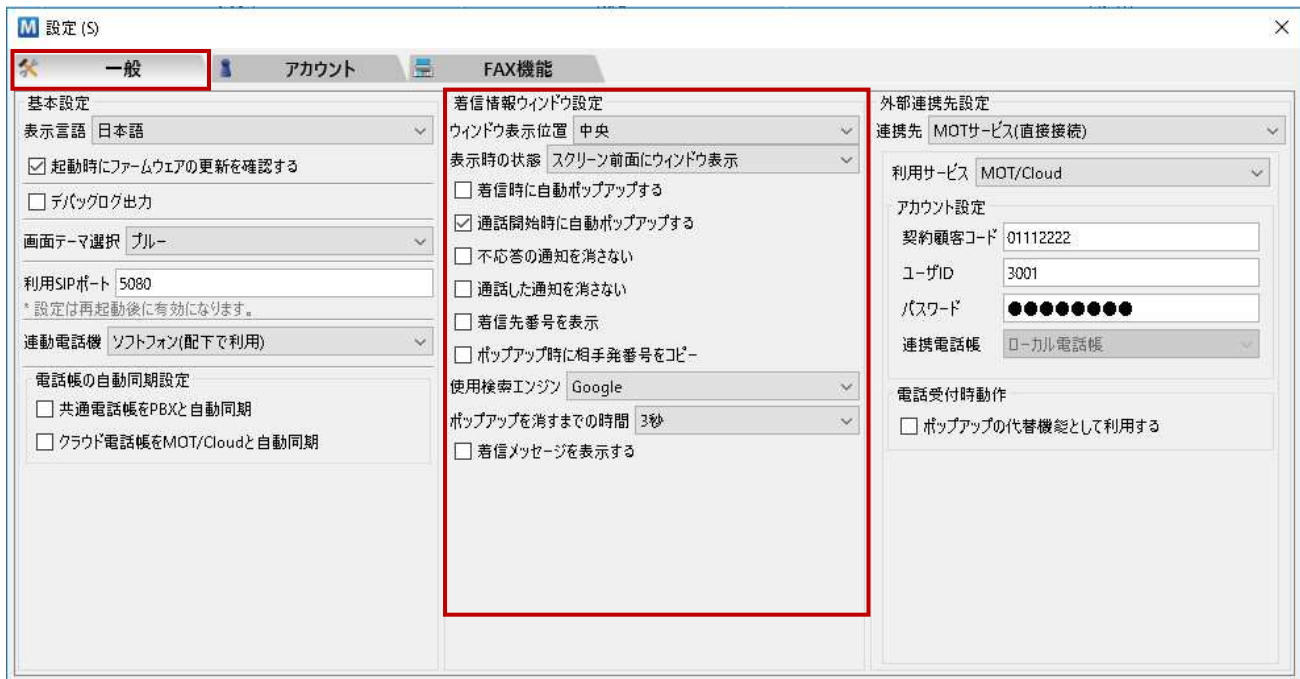
本アプリケーションの基本的な設定を行います。



項目名称	機能説明
表示言語	表示に使用する言語を選択します。(日本語のみ)
起動時にファームウェアの更新を確認する	アプリケーション起動時に、自動で最新のアプリケーションの確認を行います。新しいアプリケーションが見つかった場合はアップデートウィンドウを表示します。
デバッグログ出力	デバッグ用のログをログファイルに出力します。
画面テーマ選択	着信情報ウィンドウのテーマを選択します。設定は再起動後に有効になります。
利用 SIP ポート	使用する SIP ポート番号を設定します。設定は再起動後に有効になります。(初期値 5080)
連動電話機	着信時に電話機を鳴動させる場合は「SIP フォン/ソフトフォン」を選択します。MOT/Phone Windows v6.2 以上と連動する場合は「ソフトフォン(配下で利用)」を選択し、ソフトフォンの配下で動作するように設定します。(詳細は 4.2 項をご参照ください)ソフトフォンを利用せず、PC に固定 IP アドレスが設定できない場合は「連動しない」を選択すると、グループ着信時に情報ウィンドウを表示、または指定した外部連携先(アプリ/URL)と連動することができます。
電話帳の自動同期設定	MOT/Phone と同期している MOT/PBX の共通電話帳、または MOT/Cloud のクラウド電話帳と自動的に同期することができます。設定は再起動後に有効になります。

■着信情報ウィンドウ設定

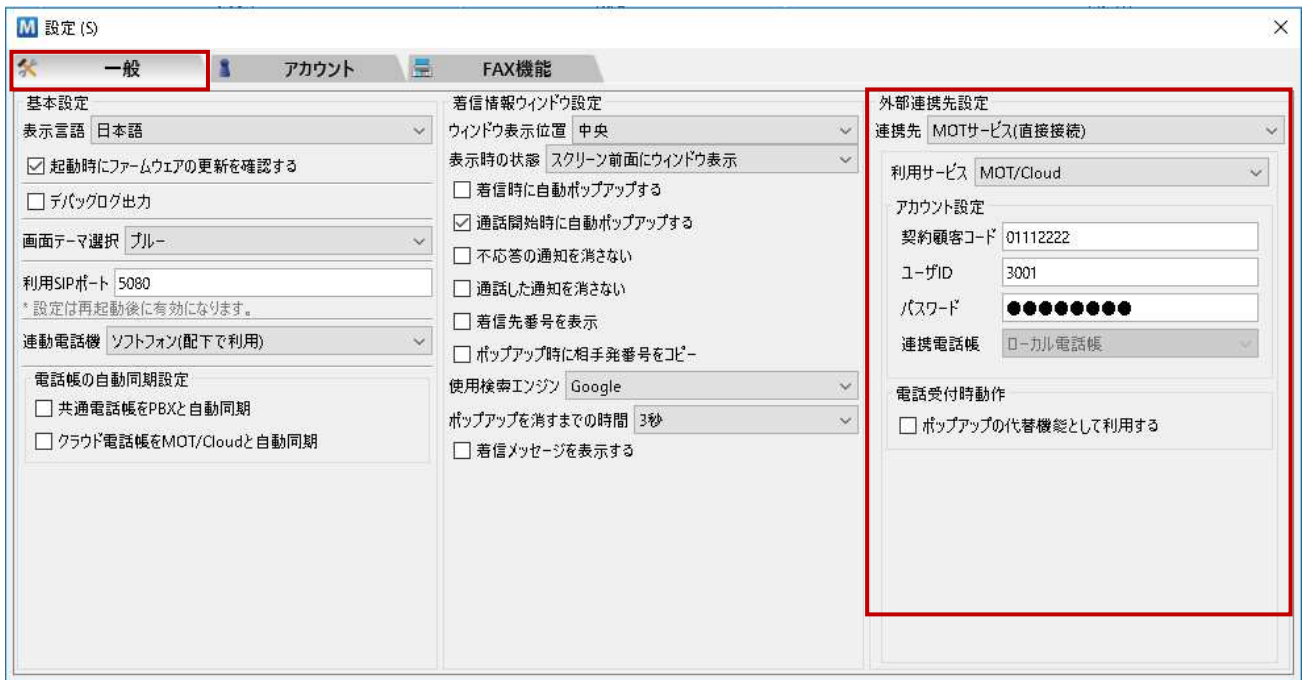
着信情報ウィンドウの表示位置、表示時間、表示項目などの設定を行います。



項目名称	機能説明
ウィンドウ表示位置	着信・通話開始時に表示する情報ウィンドウの位置を、[左上][左中央][左下][中央上][中央][中央下][右上][右中央][右下]の中から選択します。
表示時の状態	情報ウィンドウ表示時に他のウィンドウより前または後ろに表示するか、あるいは最小化して表示するか選択します。
スクリーン前面にウィンドウ表示	情報ウィンドウを最前面に表示します。
スクリーン背面にウィンドウ表示	情報ウィンドウを他のウィンドウの後ろに表示します。
ウィンドウを最小化して表示	情報ウィンドウを最小化し、タスクバーのアイコンのみ表示します。
着信時に自動ポップアップする	着信があった時に情報ウィンドウを表示します。
通話開始時に自動ポップアップする	着信に回答し、通話が開始したときに情報ウィンドウを表示します。
不応答の通知を消さない	着信に回答出来なかった場合や、他の電話機で応答した場合の通知ウィンドウを自動的に消さずに残します。※手動での消去となります。
通話した通知を消さない	通話した際に表示された通知ウィンドウを自動的に消さずに残します。※手動での消去となります。
着信先番号を表示	着信先の電話番号を表示します。※NAKAYO機器への着信には非対応です。
ポップアップ時に相手発番号をコピー	着信情報ウィンドウを表示したタイミングで相手番号をクリップボードにコピーします。
使用検索エンジン	着信情報ウィンドウの「WEB 検索」で使用する検索エンジンを選択します。
ポップアップを消すまでの時間	着信情報ウィンドウ表示から自動的に閉じるまでの間隔を選択します。 表示する時間を[0 秒][1 秒][2 秒][3 秒][4 秒][5 秒][30 秒][60 秒][120 秒][180 秒]から選択します。 ※不応答の通知、通話した通知を消さない設定がなされていない場合に有効となります。
着信メッセージを表示する	着信があった時に、画面右下に着信メッセージを表示します。

■外部連携先設定

着信情報ウィンドウの[電話受付]押下時、右クリックメニューの[顧客情報][電話帳]選択時に、外部の機器、ウェブサイト、アプリケーションと連携を行う為の設定を行います。



項目名称	機能説明
連携先	着信情報ウィンドウと右クリックメニューで使用する、外部連携先を選択します。
1 MOT/PBX	使用している MOT/PBX の設定画面を使用します。
2 MOT/Cloud	MOT/Cloud サービスを利用する場合に選択します。
1 契約顧客コード	サービスの契約顧客コードを入力します。
2 ユーザ ID	サービスのログイン用ユーザ ID を入力します。
3 パスワード	ユーザ ID で使用するパスワードを入力します。
4 ポップアップの代替機能として利用する	着信時、着信情報ウィンドウ表示の代わりに WEB ブラウザで MOT/Cloud の電話受付画面を開きます。
3 MOT サービス(直接接続)	MOT/TEL や MOT/PBX のグローバルアドレスで電話を利用している時に、MOT/Cloud, FreePOS 等の MOT サービスに直接接続する場合に選択します。
1 利用サービス	利用するサービスを選択します。
MOT/Cloud	cloud.mot-net.com へ接続します。
POS ASP	freepos.office24.ne.jp へ接続します。
Project-MOT	project-mot.webjapan.co.jp へ接続します。
2 契約顧客コード	サービスの契約顧客コードを入力します。
3 ユーザ ID	サービスのログイン用ユーザ ID を入力します。
4 パスワード	ユーザ ID で使用するパスワードを入力します。
5 ポップアップの代替機能として利用する	着信時、着信情報ウィンドウ表示の代わりに WEB ブラウザで利用サービスの電話受付画面を開きます。

項目名称		機能説明
4	外部 URL	外部のウェブサイトと連携を行う場合に選択します。
1	電話受付時連携先	着信情報ウィンドウの[電話受付]クリック時の動作を設定します。
1	ポップアップの代替機能として利用する	着信情報ウィンドウ表示の代わりに WEB ブラウザで指定 URL を開きます。
2	URL	着信情報ウィンドウの[電話受付]で遷移するウェブサイトを指定します。
2	顧客情報連携先	右クリックメニューの[顧客情報]選択時に遷移するウェブサイトを指定します。
3	電話帳連携先	右クリックメニューの[電話帳]選択時の動作を設定します。
1	電話帳連携機能を利用する	チェックを入れると、[電話帳]選択時に WEB ブラウザで指定した URL を開きます。チェックしない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。
2	URL	[電話帳]メニュー選択で遷移するウェブサイトを指定します。
5	外部アプリケーション	他社製のアプリケーション等と連携を行う場合に選択します。
1	電話受付時連携先	着信情報ウィンドウの[電話受付]で連携するアプリケーションを設定します。
1	ポップアップの代替機能として利用する	着信情報ウィンドウ表示の代わりにアプリケーションを起動します。
2	ファイル	連携するアプリケーションファイルを指定します。
3	パラメータ	アプリケーションを起動する際のパラメータを指定します。
2	顧客情報連携先	右クリックメニューの[顧客情報]選択時に連携するアプリケーションを設定します。
1	ファイル	連携するアプリケーションファイルを指定します。
2	パラメータ	アプリケーションを起動する際のパラメータを指定します。
3	電話帳連携先	右クリックメニューの[電話帳]選択時に連携するアプリケーションを設定します。
1	電話帳連携機能を利用する	チェックを入れると、[電話帳]選択時に指定のアプリケーションを起動します。チェックしない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。
2	ファイル	連携するアプリケーションファイルを指定します。
3	パラメータ	アプリケーションを起動する際のパラメータを指定します。

■MOT/PBX との連携

MOT/PBX と連携します。

[アカウント]タブの[サーバアドレス]で設定した MOT/PBX と連携します。

電話機配下動作時は、ソフトフォンが使用している MOT/PBX と連携します。

[電話受付]押下時、[顧客情報]選択時は MOT/PBX の CTI 画面に遷移します。

[電話帳]は MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。

設定を行う必要はございません。



■MOT/Cloud との連携

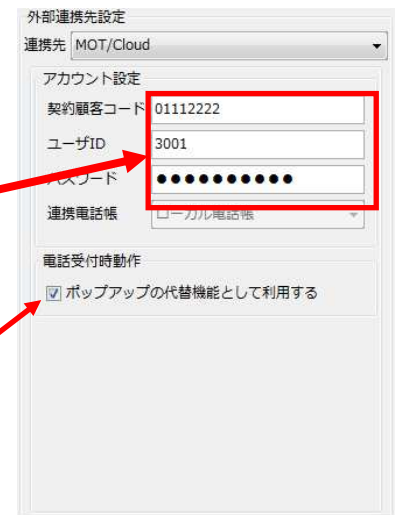
MOT/Cloud と連携します。

[電話受付]押下時および [顧客情報]選択時は自動的にログインし、

MOT/Cloud の電話受付画面および顧客情報画面に遷移します。

MOT/Cloud の契約顧客コード、ユーザ ID、パスワードを入力します。
連携を行う際に、入力された情報で MOT/Cloud にログインします。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、
着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザが起動し
MOT/Cloud の電話受付画面を開きます。



[ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い。

・代替機能として利用しない場合(着信するとまずポップアップウィンドウが起動します。)



・代替機能として利用する場合(着信するとポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザを起動します。)



■MOT サービスとの連携(直接接続)

MOT サービスと連携します。

[電話受付]押下時および[顧客情報]選択時は自動的にログインし、MOT サービスの電話受付画面および顧客情報画面に遷移します。

MOT サービスの契約顧客コード、ユーザID、パスワードを入力します。連携を行う際に、入力された情報で MOT サービスにログインします。

[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザを起動し MOT サービスの電話受付画面を開きます。

[ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い。

・代替機能として利用しない場合(着信するとまずポップアップウィンドウが起動します。)



・代替機能として利用する場合(着信するとポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザを起動します。)



■外部 URL との連携

外部のウェブサイトと連携します。

[電話受付]押下時、[顧客情報]選択時、[電話帳]選択時にそれぞれ設定したウェブサイトに移ります。

・[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに WEB ブラウザを起動し指定した URL を開きます。

・[電話帳連携機能を利用する]がチェックされていない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。

特定の文字列を入力することで、可変値として扱う事が出来ます。

- (1) 電話受付時連携先のみ、「%TEL」と入力した部分は **相手電話番号** に変換されます。また、「%PCPI」と入力した部分は **着信自局番号** に変換されます。「%CALLID」と入力した部分は着信時の外線 **Call-ID** (着信呼を一意に識別するための文字列) に変換されます。
- (2) 「%ID」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した **ユーザ ID** に変換されます。
- (3) 「%PWD」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した **パスワード** に変換されます。

項目名称	機能説明
電話受付連携先	[電話受付]を押下した時に遷移するウェブサイトを設定します。
顧客情報連携先	[顧客情報]を選択した時に遷移するウェブサイトを設定します。
電話帳連携先	[電話帳]を選択した時に遷移するウェブサイトを設定します。 標準の電話帳を利用することも可能です。

[URL 入力例]

■電話受付時連携先

http://<PBX_IP>:18080/redir/clredir.cgi?hidden=continue::ctiInput,tel::%TEL,ext::<内線番号>,uid::%ID,pw::%PWD

■顧客情報連携先

http://<PBX_IP>:18080/redir/clredir.cgi?hidden=continue::Client,tel::,ext::<内線番号>,cls::,uid::%ID,pw::%PWD

[ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い。

・代替機能として利用しない場合 (着信するとまずポップアップウィンドウが起動します。)



・代替機能として利用する場合 (着信するとポップアップウィンドウは起動せずに WEB ブラウザを起動します。)



■外部アプリケーションとの連携

他社製のアプリケーションと連携します。

[電話受付]押下時、[顧客情報]選択時、[電話帳]選択時にそれぞれ設定したアプリケーションを設定したパラメータ付で起動します。

・[ポップアップの代替機能として利用する]がチェックされている場合、着信情報ウィンドウを表示する代わりに指定したアプリケーションが起動します。

・[電話帳連携機能を利用する]がチェックされていない場合、MOT/Phone POP-UP 標準の電話帳が呼び出されます。

[パラメータ]欄には、ファイルを起動する際に付与するパラメータを設定します。

- ・電話受付時連携先のみ、「%TEL」と入力した部分は **相手電話番号** に変換されます。また、「%PCPI」と入力した部分は **着信自局番号** に、「%CALLID」と入力した部分は着信時の外線 **Call-ID** (着信呼を一意に識別するための文字列) に変換されます。
- ・「%ID」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した **ユーザ ID** に変換されます。
- ・「%PWD」と入力した部分は MOT/Cloud との連携機能で設定した **パスワード** に変換されます。

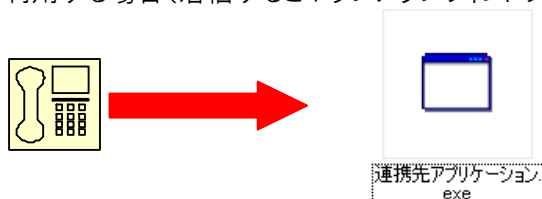
項目名称	機能説明
電話受付連携先	[電話受付]を押下した時に起動するアプリケーションを設定します。
顧客情報連携先	[顧客情報]を選択した時に起動するアプリケーションを設定します。
電話帳連携先	[電話帳]を選択した時に起動するアプリケーションを設定します。 標準の電話帳を利用することも可能です。

[ポップアップの代替機能として利用する]をチェックする/しない場合の挙動の違い。

・代替機能として利用しない場合(着信するとまずポップアップウィンドウが起動します。)



・代替機能として利用する場合(着信するとポップアップウィンドウは起動せずに指定した処理を実行します。)



5-2. アカウント設定

アプリケーションが使用する内線番号、パスワードや使用する MOT/PBX または MOT/TEL のポート番号設定等を行います。

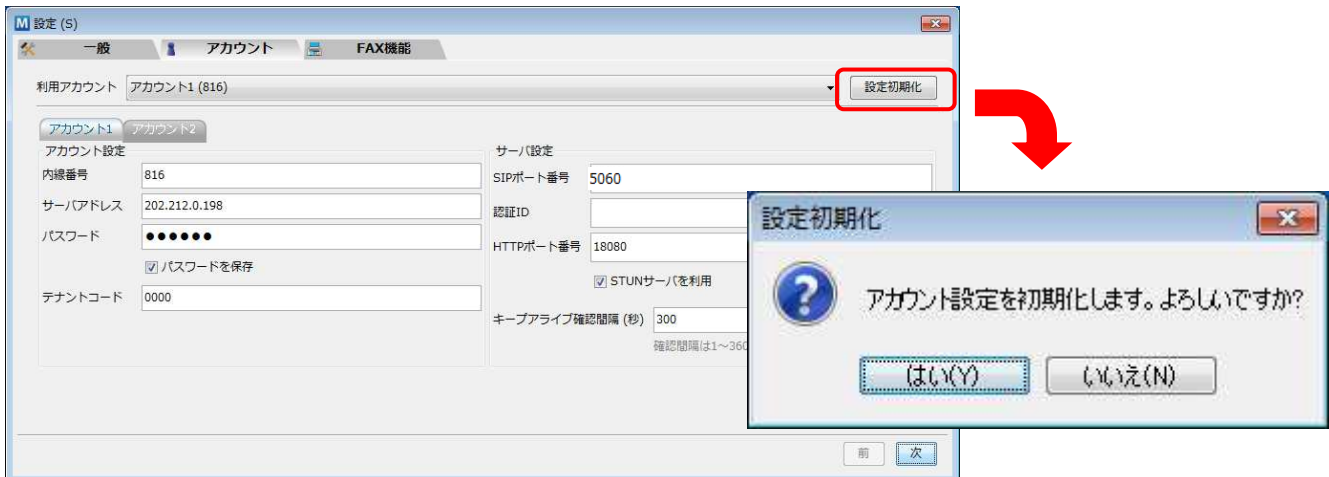
表示された設定ウィンドウの[アカウント]を選択します。

アカウントは最大 2 個設定でき、どちらかを使用します。各アカウント設定はタブを切り替えて行います。

項目名称	機能説明
利用アカウント	使用するアカウントを選択します。
内線番号	使用する内線番号を入力します。
サーバアドレス	使用する MOT/PBX または MOT/TEL のアドレスを入力します。 ソフトフォン配下利用の場合は 127.0.0.1 を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存する場合にチェックします。
テナントコード	MOT/TEL に接続する場合、使用するテナントコードを入力します。
SIP ポート番号	サーバの SIP ポート番号を入力します。ソフトフォン配下利用の場合はソフトフォンのクライアント SIP ポートと同じ値を入力します。
認証 ID	認証に使用する ID を入力します。(空欄の場合は内線番号を使用します)
HTTP ポート番号	MOT/PBX の HTTP ポート番号を入力します。(初期値 18080)
STUN サーバ利用	NAT 越えを有効にします。
キープアライブ確認間隔	キープアライブ確認を行う間隔を入力します。
設定初期化	選択中アカウントの設定を削除します。

■アカウントの削除

[設定初期化]ボタンを押すと、アカウント設定の初期化確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると、その時表示しているアカウントの設定が初期化されます。



■利用アカウントの切り替え

利用アカウントを変更する場合、[利用アカウント]の選択を変更し[次]-[登録]ボタンを押します。

設定が保存された時点で、今まで使用していたアカウントのサーバに対して登録解除を行い、同時に、新たな利用アカウントをサーバ登録します。

※ ソフトフォン配下で利用時は、利用アカウントの切り替えはソフトフォンで行います。本アプリケーションのアカウントを変更する必要はありません。



5-3. FAX 機能設定

FAX メールを送受信に使用するサーバ、ID、メールアドレスや、FAX メールの自動受信設定、保存先設定を行います。設定は即座に反映されます。

※本機能は MOT/PBX M-V1,M-V1+B、MOT/PRO、MOT/Mini のみ使用可能です。

The screenshot shows the 'FAX機能' settings window. On the left, the 'FAXメール送信設定' section includes fields for SMTPサーバ (smtp.mot-net.com), ポート番号 (587), 送信者メールアドレス, FAXメール送信先アドレス, SMTP認証設定 (認証ID, パスワード), and 受信待機時間 (10). On the right, the 'FAXメール受信設定' section includes fields for POPサーバ (mail.domain.com), ポート番号 (110), SSL接続を利用 (unchecked), 認証ID (user1024), パスワード, 自動受信 (する), 保存先フォルダ (C:\Documents), and 受信待機時間 (10). A checkbox for '受信したFAXをサーバから削除' is checked.

項目名称	機能説明
SMTP サーバ	当社から発行される SMTP サーバを入力します。 初期値:smtp.mot-net.com
ポート番号	SMTP サーバポート番号を入力します。 初期値:587
送信者メールアドレス	FAX メールの送信者欄に表示するメールアドレスを入力します。
FAX メール送信先アドレス	当社から発行される MOT/FAX 送信用メールアドレスを設定します。
認証 ID	SMTP サーバの認証 ID を設定します。
パスワード	SMTP サーバの認証パスワードを設定します。
POP サーバ	FAX メール受信用メールアカウントで使用する POP サーバを入力します。
ポート番号	POP サーバポート番号を入力します。 初期値:110
SSL 接続を利用	POP サーバに接続する際に SSL を使用する場合にチェックを入れます。
認証 ID	POP サーバの認証 ID を設定します。
パスワード	POP サーバの認証パスワードを設定します。
自動受信	FAX がメールサーバに届いた時に、自動受信・保存を行うかを選択します。 自動受信しない場合、FAX が届いた時に画面にメッセージがポップアップされます。そのメッセージ内にあるダウンロードボタンをクリックすることで、PC 内に受信・保存することが可能です。
保存先フォルダ	受信した FAX を保存するフォルダを選択します。
受信したFAXをサーバから削除	FAX メール受信後にメールをサーバから削除する場合はチェックを入れます。
受信待機時間	FAX 自動受信実行までの待機時間を設定します。



FAX 機能を利用するには、当社から発行されるメールアカウントが必要です。
ひかり電話の契約(FAX専用番号を最低1個用意)が必要です。

6. 着信時の動作

MOT/PBXを経由して外線着信した場合、相手先の情報が表示されます。

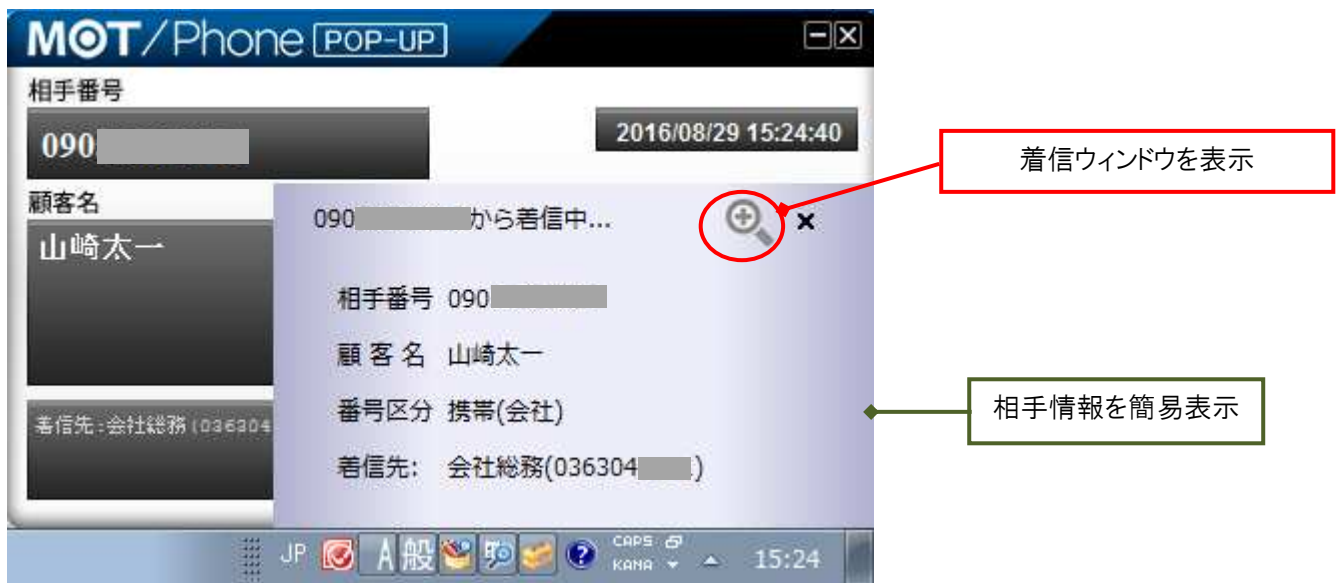
着信の表示には、着信した事を簡易的に通知する「着信メッセージ」、連携用のメインウィンドウ「着信情報ウィンドウ」と、クラウドで相手先の情報を表示する「MOT/Cloud」、外部 CTI システムにブラウザで接続する「外部 URL」、指定アプリケーションを起動する「外部アプリケーション」の 5 種類があります。

6-1. 着信メッセージ

外線からの着信時に画面右下にポップアップ表示を行います。(初期値:無効)

[設定]-[一般]で[着信メッセージを表示する]にチェックを入れると、着信があった際に画面右下に着信メッセージを表示します。メッセージには発信元番号と、番号に関連付けられた顧客名、番号区分が表示されます。

[着信先番号を表示]にチェックを入れている場合、着信自局番号が表示されます。



メッセージウィンドウ右上のアイコンをクリックすると、通話開始前に着信情報ウィンドウを表示します。

また着信情報ウィンドウ表示時にクリックすると、ウィンドウを非表示にします。

6-2. 着信情報ウィンドウ

着信もしくは通話開始時に、発信元の情報を表示するメインウィンドウです。(初期値:通話開始時)



項目名称	機能説明
相手番号	発信元の番号を表示します。
顧客名	番号に関連付けられた顧客名、住所を表示します。情報が無い場合は「未登録」と表示されます。[設定]-[一般]で「着信先番号を表示」がチェックされている場合は着信先の番号が表示されます。 顧客名称～最大 25 文字、着信先表示の場合は一部文字が重なります。 住所　～最大 48 文字、着信先表示の場合は一部文字が重なります。 また、顧客名称が1列以上になる場合はその分文字が表示されません。
担当者	優先着信先に設定されている内線番号および名称を表示します。情報が無い場合は「未登録」と表示されます。
前回通話	前回の通話終了時刻とその時の通話者名を表示します。
通話履歴	発信元との通話履歴を表示します。 一週間分の発着信の履歴を確認することができます。
WEB 検索	着信相手の情報(住所、名称、電話番号)を元に WEB 検索を行います。 URL の情報が登録されている場合はその URL の画面を表示します。
電話受付	顧客情報を編集する画面を表示します。 MOT/Cloud サービス利用時は、電話受付情報と顧客情報を表示します。

[設定]-[一般]-[着信情報ウィンドウ設定]の各項目の設定によって以下のように動作します。

[表示時の状態]に[スクリーン前面にウィンドウ表示]を選択すると、スクリーンの最前面にウィンドウを表示します。

[スクリーン背面にウィンドウ表示]を選択すると、他のウィンドウより後ろにウィンドウを表示します。

[ウィンドウを最小化して表示]を選択すると、タスクバーにアイコンを表示します。クリックするとウィンドウが表示されます。

[着信時に自動ポップアップする]にチェックを入れると、着信があった際に表示します。

[通話開始時に自動ポップアップする]にチェックを入れると、通話を開始した際に表示します。

[不応答の通知を消さない]にチェックを入れると、応答しなかった通話のウィンドウは手動で閉じない限り表示され続け、着信をする度に新しいウィンドウを表示します。

[通話した通知を消さない]にチェックを入れると、応答した通話のウィンドウは手動で閉じない限り表示され続け、着信をする度に新しいウィンドウを表示します。

[着信先番号を表示]にチェックを入れると、顧客名の下に着信先番号が表示されます。

[ポップアップ時に相手発番号をコピー]にチェックを入れると、着信情報ウィンドウが表示されたタイミングで相手番号をクリップボードにコピーします。コピーした番号はテキストエディタ等に貼り付けることができます。

6-3. MOT/Cloud

着信時に直接 MOT/Cloud の画面を表示するウィンドウです。

※MOT/Mini は顧客情報を本体に登録できないため、着信情報ウィンドウでは発信元情報を確認できません。そのため MOT/Cloud を利用し発信元情報を確認します。

[設定]-[一般]で[外部連携先設定]の[連携先]を[MOT/Cloud]に設定し、[電話受付時動作]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れると、着信時に直接 MOT/Cloud の画面を表示します。

MOT/TEL や MOT/PBX のグローバルアドレスで電話を利用している場合は[連携先]を[MOT サービス(直接接続)]に設定し、[電話受付時動作]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れます。

The screenshot displays the MOT/Cloud interface with the following sections:

- Header:** MOT/Cloud logo and '電話受付' (Phone Reception).
- Navigation:** 見込み客の作成, 取引先の作成, 取引先担当者の作成, ログイン.
- Call Log Section (Left):**
 - 発信者番号: 0312345678
 - 受付日時: 2014/06/11 19:03:12
 - 発信者候補一覧:

区分	発信者
取引先	オフィス24
取引先	
 - 電話履歴の作成:
 - 区分: [-----] (dropdown)
 - 件名*: [] (input)
 - 関連者: [-----] (dropdown)
 - 関連先: オフィス24 (dropdown)
 - 説明: [] (text area)
 - メール送信先: [] (text area)
 - Buttons: 追加, 削除
 - 保存: [保存] (button)
 - 電話履歴(最新5件):

電話履歴の登録はありません。
- Contact Details Section (Right):**
 - 取引先の詳細:
 - タグ: [変更] MOT
 - 区分: 法人
 - 所有者: 永田祥恵
 - 取引先名: オフィス24 (オフィス ニジューヨン) 業種
 - 住所: 東京都江戸川区 (地図で見る) 会社形態
 - 電話番号: 0312345678 電話番号2
 - 電話番号3 従業員数
 - FAX番号 年間売上
 - 種別 URL
 - 評価 備考 備考1
 - 作成者: 永田祥恵 (2014/06/10 09:34:17) 最終更新者: 永田祥恵 (2014/06/10 09:34:17)
 - 電話履歴:

電話履歴の登録はありません。
 - 取引先担当者:

取引先担当者の登録はありません。
 - 商談:

商談の登録はありません。

※MOT/Cloud の使用方法については別紙「MOT/Cloud 操作マニュアル」をご参照ください。

6-4. 外部 URL

電話受付時連携先の URL を設定することで、着信時に任意の CTI システムの画面を表示することが可能です。

[設定]-[一般]で[外部連携先設定]の[連携先]を[外部 URL]に設定し、[電話受付時連携先]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れ、[URL]には下記のように入力します。

```
http://<PBX_IP>:18080/redir/clredir.cgi?hidden=continue::ctiInput,tel::%TEL,ext::<内線番号>,uid::%ID,pw::%PWD
```

6-5. 外部アプリケーション

電話受付時の連携アプリケーションを設定することで、着信時に情報ウィンドウを表示する代わりに、指定のアプリケーションを実行することが可能です。

[設定]-[一般]で[外部連携先設定]の[連携先]を[外部アプリケーション]に設定し、[電話受付時連携先]-[ポップアップの代替機能として利用する]にチェックを入れ、[ファイル]に実行するアプリケーションのパスを、[パラメータ]にはアプリケーション実行時に設定するパラメータを入力します。

MOT/PBX シリーズを利用した場合の着信ポップアップ(CTI)機能パターン

(1) 通常の着信ポップアップ(応答後表示設定)

① MOT/PBX M-V1



② MOT/Mini



(2) 直接 CTI を開く着信ポップアップ(応答後表示設定)①②共通動作



(3) 直接 CTI を開く着信ポップアップ(応答前設定)①②共通動作



7. 顧客情報の新規登録



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「顧客情報」の項目をクリックすると、ブラウザを開き、顧客情報設定画面を表示します。

(例)MOT/PBX の顧客情報設定画面

連絡先情報の設定

▶ [一覧へ]

ユーザID	
名称	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
郵便番号(7桁)	<input type="text"/>
国番号	81
都道府県	北海道
市区町村・番地	<input type="text"/>
会社名	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
URL	<input type="text"/>
FAX	<input type="text"/>
ユーザ区分	外部個人
優先着信先	自動判定
着信先番号	<input type="text"/> <input type="text"/>
備考	<input type="text"/>

◆登録番号

区分	会社
電話番号	<input type="text"/>

番号追加 番号修正 番号全削除

情報保存 情報削除

8. 電話帳機能



タスクレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「電話帳」の項目をクリックすると、電話帳が表示されます。

また、MOT/Phone の「電話帳」ボタンをクリックすることで、電話帳を表示させることができます。



8-1. 電話帳画面

電話帳内の連絡先をダブルクリックすることで MOT/Phone からの発信ができます。

また電話帳に登録した短縮番号を利用して MOT/Phone から発信することが可能です。

項目名称	機能説明
発信	MOT/Phone より発信します。 複数番号登録時は、電話番号を選択して発信できます。
連絡先編集	編集画面を表示します。
連絡先削除	該当データを削除します。

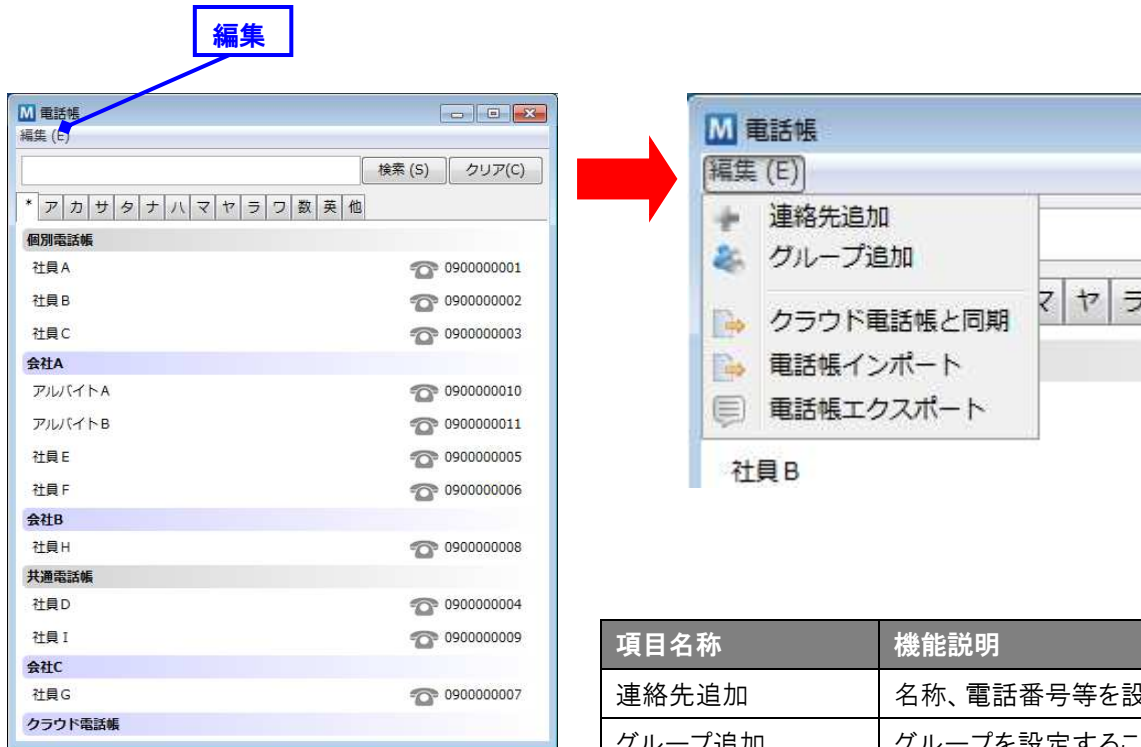
※連絡先に複数番号が登録されている場合は、優先番号に設定した番号に対して発信します。

※[外部連携設定]にて、電話帳の連携先を指定していた場合、そちらが呼び出されます。

Skype 等、他のクリック発信対応アプリがインストールされていると、電話帳のクリック発信機能が利用できない場合があります。クリック発信出来ない場合は、他のアプリをアンインストール後、MOT/Phone の再インストールが必要です。

8-2. 電話帳メニュー

電話帳ウィンドウのツールバーの[編集]をクリックするとメニューが表示されます。



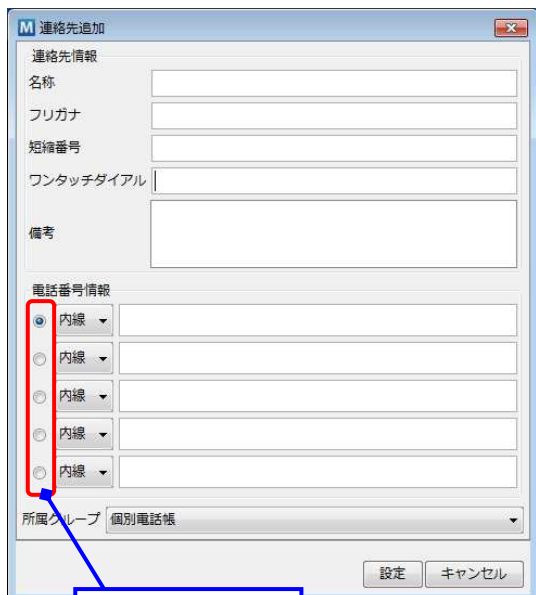
項目名称	機能説明
連絡先追加	名称、電話番号等を設定します。
グループ追加	グループを設定することで連絡先情報をグループ毎に管理できます。
クラウド電話帳と同期	[外部連携先]に MOT/Cloud のアカウント情報が設定済の場合に表示されます。 MOT/Cloud の電話帳を取得します。
電話帳インポート	CSV データより電話帳を登録します。
電話帳エクスポート	連絡先を CSV ファイルに保存します。

8-3. 連絡先の登録

[編集]-[連絡先追加]より、連絡先の情報を登録します。

1つの連絡先に対して5番号まで設定できます。

複数の電話番号を登録した場合、優先発信する番号を1つ選択します。優先番号は連絡先一覧画面からのダブルクリック時、および短縮番号発信時の発信先として使用されます。



項目名称	機能説明
連絡先情報	
名称	電話帳一覧に表示します。
フリガナ	50音の絞り・並び順に利用します。
短縮番号	00~99, 000~500が設定できます。 MOT/Phone から短縮番号をダイヤルすることで発信できます。 ※パーク保留のピックアップに使用する番号と同じ番号は使用しないでください。
ワンタッチダイヤル	未使用
備考	未使用
電話番号情報	
優先番号の選択	優先番号として使用する番号を選択します
内線/外線	内線または外線を選択します。
電話番号	電話番号を登録します。
所属グループ	グループを選択します。

8-4. グループの登録

[編集]-[グループ追加]より、連絡先情報管理用のグループを作成します。

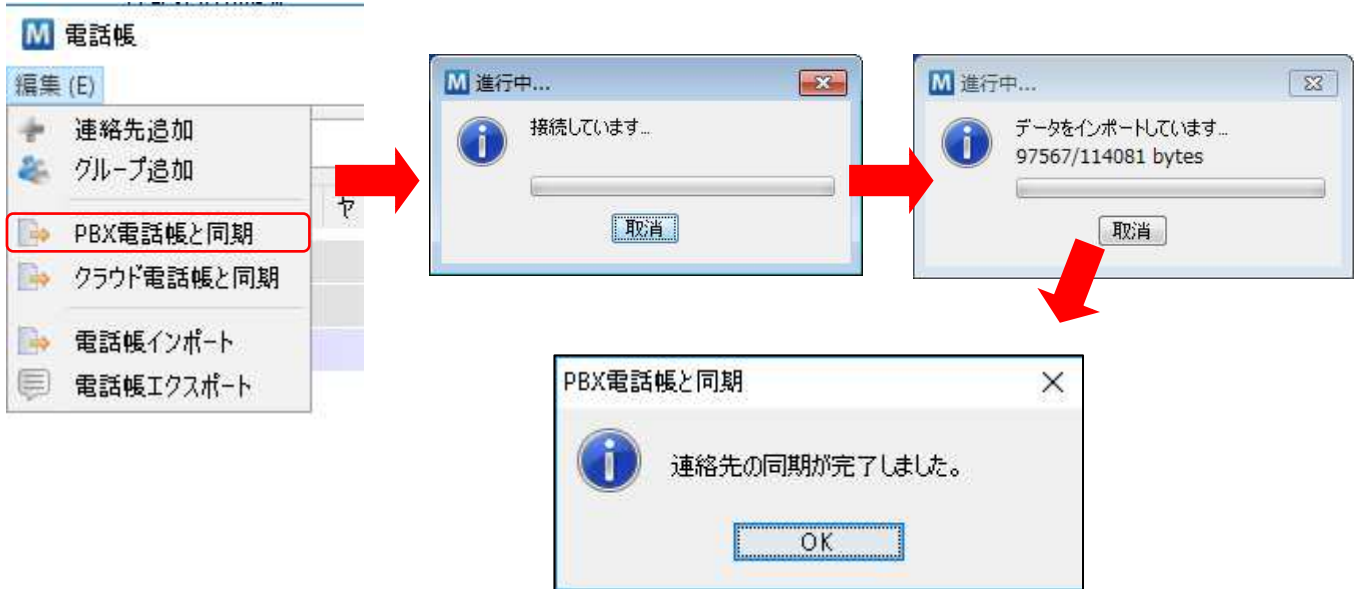


項目名称	機能説明
グループ名	グループの名称を設定します。
所属グループ	親グループを選択します。 ※[個別電話帳][共通電話帳]が選択可能です。

8-5. MOT/PBX 電話帳と手動同期

[編集]-[PBX 電話帳と同期]をクリックすると、MOT/PBX の共通電話帳データを取得して、「共通電話帳」グループのデータに反映します。

※連絡先件数が 1 万件を超える場合、PC のメモリ容量によっては正常動作しない場合があります。

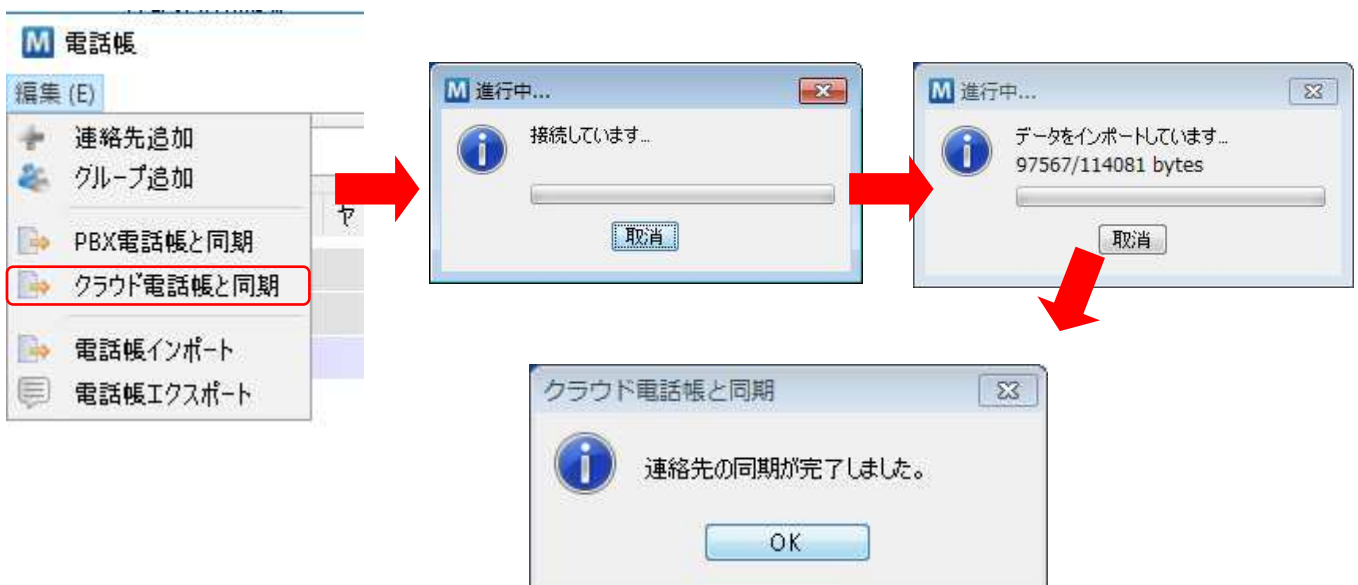


8-6. クラウド電話帳と手動同期

[設定]-[一般]-[外部連携先設定]の[MOT サービス(直接接続)]画面で[利用サービス]に[MOT/Cloud]を選択し、アカウント設定をすべて入力している場合のみ表示されます。

[編集]-[クラウド電話帳と同期]をクリックすると、MOT/Cloud の共通電話帳データを取得して、「クラウド電話帳」グループのデータに反映します。

※連絡先件数が 1 万件を超える場合、PC のメモリ容量によっては正常動作しない場合があります。

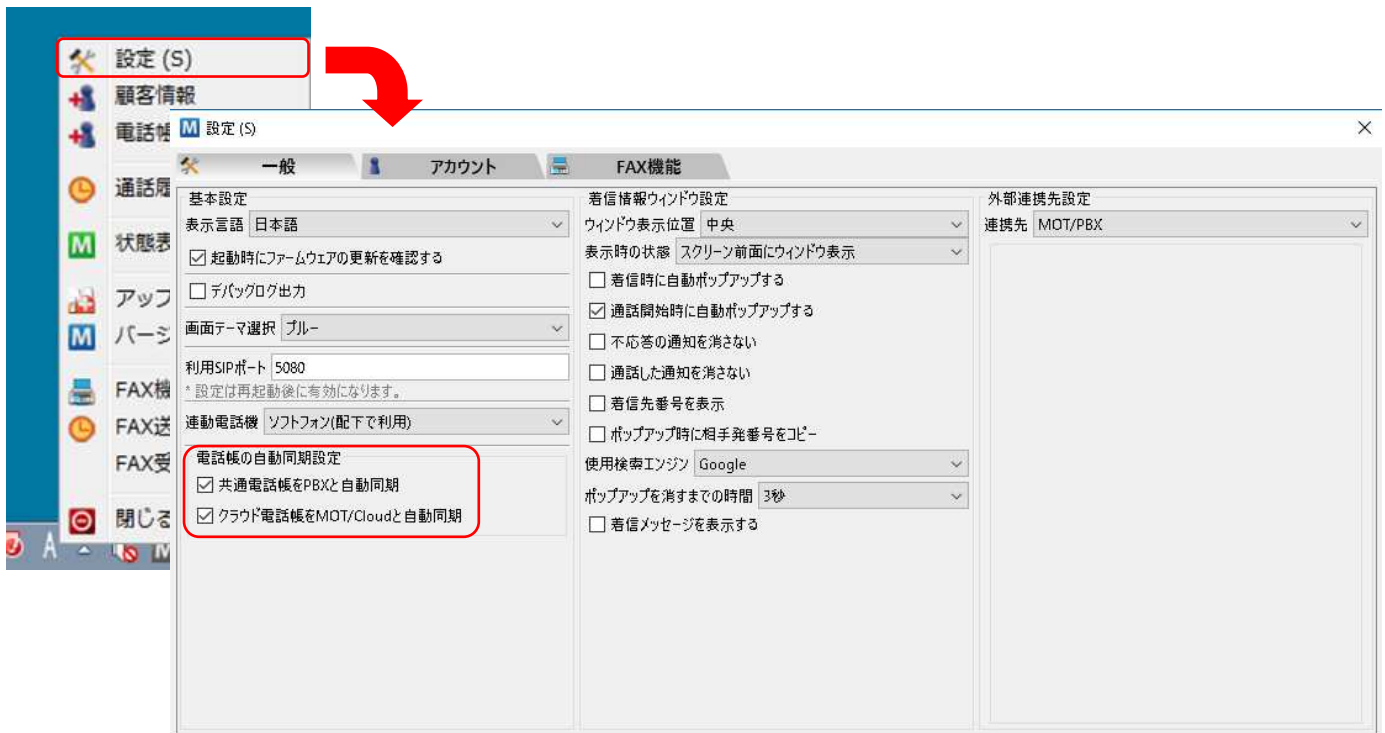


8-7. 共通電話帳の自動同期

MOT/Phoneと同期しているMOT/PBXの共通電話帳、またはMOT/Cloudのクラウド電話帳のデータが更新された場合に、1日に1回(深夜2時-5時の間)、またはアプリ起動時に自動的に電話帳を更新します。

[設定]-[一般]-[電話帳の自動同期設定]の[共通電話帳をPBXと自動同期]、[クラウド電話帳をMOT/Cloudと自動同期]にチェックを入れることで利用できます。

※設定変更後はアプリを再起動してください。



電話帳取得において、PCにインストールされているセキュリティソフトやネットワーク上に設置されている機器により電話帳の取得ができない場合がございます。

その際は、セキュリティソフト及びネットワーク機器の設定変更が必要になる場合がございます。



・MOT/PBXの共通電話帳の自動更新を利用する場合、MOT/PBXのファームアップデートが必要な場合があります。

・共通電話帳を自動同期するように設定した場合、PC側で追加、修正した内容は上書きされます。

・共通電話帳の自動取得が正常に完了していない場合、手動取得にて電話帳の更新を行ってください。

・MOT/TELはMOT/PBXの共通電話帳を使用できません。

8-8. 電話帳のインポート

[編集]-[電話帳インポート]より、CSV ファイルをインポートして、電話帳データを更新します。

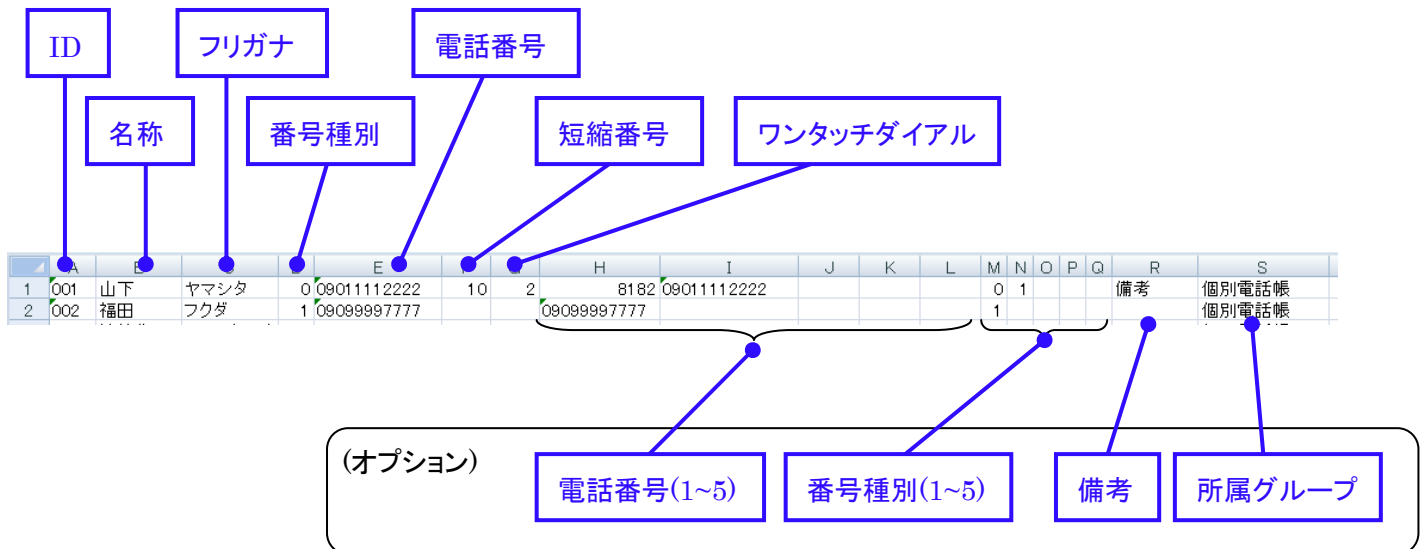


項目名称	機能説明	
CSV ファイル	インポートする CSV ファイルを選択します。	
インポート先	インポート先を選択します。 ※[個別電話帳][共通電話帳]が選択可能です。 ※以前のデータは削除されます。	
電話帳形式	インポートファイルがどの電話帳形式に準ずるかを選択します。	
	SAXA	SAXA 電話機の電話帳形式
	ナカヨ	ナカヨ電話機の電話帳形式
文字コード	「SJIS」を選択します。	

インポート可能なファイルは、以下の順で各項目の値を記述した CSV ファイルです。

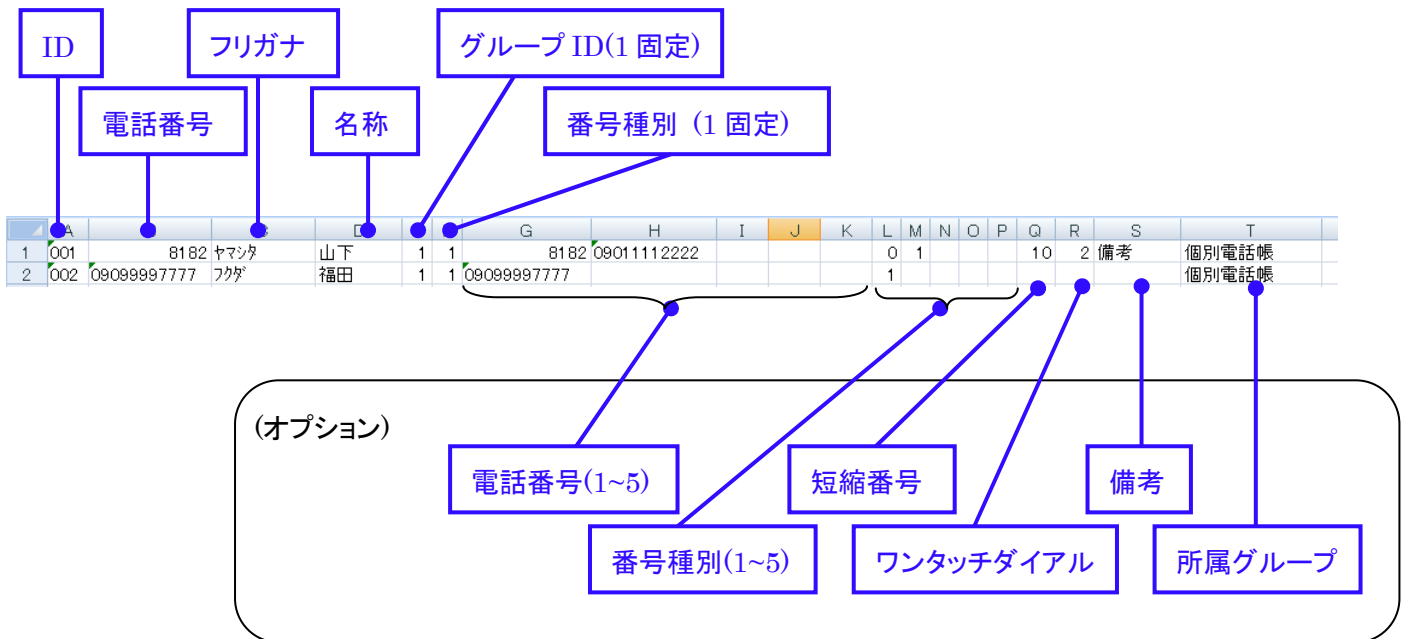
ファイルの文字コードは Shift-JIS である必要があります。

■電話帳形式に「SAXA」を選択した場合



No	項目名	説明
1	ID	連絡先のIDです。(未使用)
2	名称	連絡先の名称欄設定値です。
3	フリガナ	連絡先のフリガナ欄設定値です。(全角カタカナ)
4	番号種別	電話番号の種別を表す数値を入力します。
		0 電話番号種別:[内線]
		1 電話番号種別:[外線]
5	電話番号	電話番号を入力します。
6	短縮番号	短縮番号を入力します。(00~99, 000~500)
7	ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルを入力します。(1~30)
以下はオプション		
8	電話番号(1~5)	連絡先の電話番号を最大5つ登録できます。 この入力は、項目5の電話番号よりも優先されます。
9	番号種別(1~5)	項目8の各番号の種別を表す数値を入力します。入力されていない番号は0(内線)となります。 この入力は、対応する電話番号(項目8)が存在する場合において、項目4の番号種別よりも優先されます。
10	備考	連絡先の備考欄設定値です。
11	所属グループ名	インポート先として選択した電話帳内のグループの配下に所属する連絡先の場合、そのグループ名を記入します。空欄の場合はインポート先連絡帳の直下に保存されます。

■電話帳形式に「ナカヨ」を選択した場合



No	項目名	説明
1	ID	連絡先の ID です。(未使用)
2	電話番号	電話番号を入力します。
3	フリガナ	連絡先のフリガナ欄設定値です。(半角カタカナ)
4	名称	連絡先の名称欄設定値です。
5	グループ ID	連絡先のグループ ID を入力します (1 固定)
6	番号種別	電話番号の種別を表す数値を入力します (1 固定)
以下はオプション		
7	電話番号(1~5)	連絡先の電話番号を最大 5 つ登録できます。 この入力、項目 2 の電話番号よりも優先されます。
8	番号種別 (1~5)	項目 7 の各番号の種別を表す数値を入力します。入力されていない番号は 0(内線)となります。 この入力、対応する電話番号(項目 7)が存在する場合において、項目 5 の番号種別よりも優先されます。
9	短縮番号	短縮番号を入力します。(00~99, 000~500)
10	ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルを入力します。(1~30)
11	備考	連絡先の備考欄設定値です。
12	所属グループ名	インポート先として選択した電話帳内のグループの配下に所属する連絡先の場合、そのグループ名を記入します。空欄の場合はインポート先連絡帳の直下に保存されます。

8-9. 電話帳のエクスポート

[編集]-[電話帳エクスポート]より、電話帳データを CSV ファイルとして保存します。

出力項目を[電話帳項目のみ]でエクスポートした CSV ファイルは、対象電話機に対し、そのまま電話帳ファイルとして MOT/PBX の管理画面からインポートすることが可能です。

項目名称	機能説明	
エクスポート元	データ出力する電話帳を選択します。 [個別電話帳][共通電話帳]から選択可能です。	
保存ファイル	データの保存先ファイルを選択または入力します。	
電話帳形式	出力する電話帳形式を選択します。	
	SAXA	SAXA 電話機の電話帳形式
	ナカヨ	ナカヨ電話機の電話帳形式
出力項目	出力する項目を選択します。	
	すべて	POP-UP 電話帳の全項目を出力
	電話帳項目のみ	選択した電話機の電話帳用ファイルとして出力します。
文字コード	「SJIS」を選択します。	



出力項目を「電話帳項目のみ」にした際、電話機の電話帳登録者名における最大文字数を超えた名前は、超えた分の文字列がカットされます。

8-10. 連絡先の検索

連絡先の名称、フリガナ、登録電話番号で絞り込みを行います。絞り込みは文字列の前方一致で行います。



入力文字列検索

フリガナ検索

項目名称	機能説明
入力文字列検索	[名称][フリガナ][電話番号]のいずれかが、検索文字列に入力した文字列に一致する連絡先のみを表示します。 「クリア」を押下する事で検索結果を初期化します。
フリガナ検索	選択タブによるフリガナの五十音検索を行います。[*]を選択した場合は全連絡先が表示されます。

9. 通話履歴の表示



タスクレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「履歴を表示」の項目をクリックすると、本アプリケーションで行った通話の履歴画面を表示します。

また、MOT/Phone の「履歴」ボタンをクリックすることで、通話履歴画面を表示させることができます。



9-1. 通話履歴ウィンドウ

当アプリケーションを経由して行った発着信の履歴を表示します。相手番号や発着信の方向、表示の開始、終了日により表示する履歴を絞り込むことが可能です。

履歴をダブルクリックすると、ソフトフォンから発信を行います。

通話履歴の保存件数は最大で 1000 件です。

検索条件

相手番号: []

表示開始日: [/ /] [クリア]

表示終了日: [2017/04/26] [クリア] [検索 (S)]

発着方向: 着信 発信 発着信

今日

発 03	発信マーク	17:21:24	キャンセル
発 前田主任		17:20:42	通話 00:00:25
6291			
発 前田	着信マーク	17:20:23	キャンセル
6291			
発 前田主任		17:19:57	キャンセル
6241			
着 沢内携帯		54:09	キャンセル
090 []			
着信番号: 本社システム部開発(036304)			
着 沢内携帯			

検索条件の設定

履歴表示

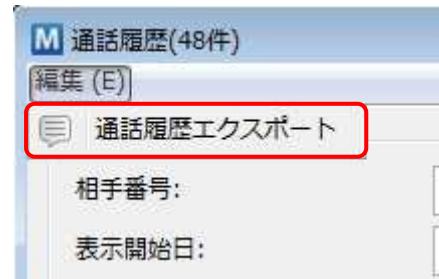
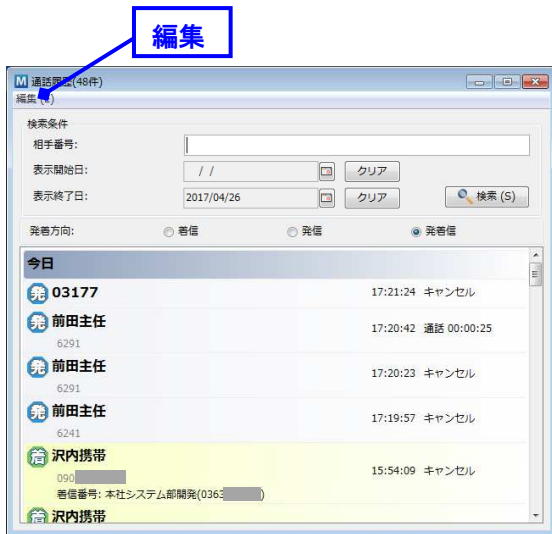
相手番号/名称

着信番号

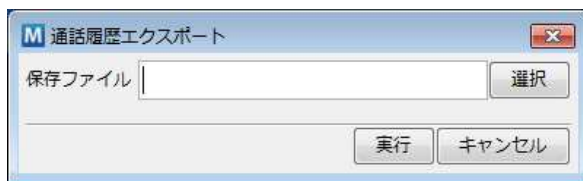
項目名称	機能説明
検索条件	
相手番号	入力した番号に対する通話履歴を表示します。(前方一致)
表示開始日	この日以降の通話履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
表示終了日	この日以前の通話履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
発着方向	選択された発着信方向の通話履歴を表示します。
履歴表示(通話履歴はローカルPCに保存されます。)	
日付	通話開始日です。ダブルクリックすると当日の履歴全てを表示/非表示にできます。
履歴エントリ	1 通話分の履歴です。ダブルクリックすると相手番号に発信します。また右クリックするとサブメニューが表示され、[顧客情報の表示・登録]および[発信]を行えます。
アイコン	発信または着信の方向を示すアイコンです。
相手番号 / 名称	通話の相手番号を表示します。電話帳に登録済の番号の場合は連絡先名称を表示し、下に番号を表示します。
着信番号	着信した外線自局番号、グループ番号を表示します。
開始時刻	通話の開始時刻を表示します。通話を行わなかった場合は発着信を行った時刻を表示します。
通話時間 / 状態	通話していた時間を表示します。通話を行わなかった場合はその状態を表示します。

9-2. 通話履歴のエクスポート

通話履歴ウィンドウのツールバーの[編集]-[電話帳エクスポート]より、PCに保存されている全ての通話履歴をCSVファイルとして保存することができます。



項目名称	機能説明
通話履歴エクスポート	通話履歴を CSV ファイルに保存します。



項目名称	機能説明
保存ファイル	データの保存先ファイルを選択または入力します。

出力される CSV ファイルは以下の形式になります。

	開始日時	終了日時	発着信方向	相手番号	通話時間 / 終了ステータス
1	通話開始時刻	通話終了時刻	発着方向	相手番号	通話ステータス
2	20171215-103630	20171215-103632	着信	非通知	0:00:02
3	20171215-095045	20171215-095055	着信	080xxxx1234	0:00:10
4	20171212-202912	20171212-202917	着信	090xxxx4321	0:00:05
5	20171212-202809	20171212-202815	着信	03xxxx6789	0:00:05

10. 端末登録状態の変更

10-1. 現在の端末登録状態の表示・変更

タスクトレイ上のアイコンは、利用中アカウントの現在の端末登録状態を示しています。

離席時に着信を受けないようにする場合や、その後で再度通話可能状態にしたい場合など、状態を変更する時には、タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、**[状態表示]**から表示されるサブメニューをクリックすることで、登録状態を変更することができます。



アプリケーションをソフトフォンの配下で利用している場合は表示されません。

端末登録状態の変更はソフトフォンで行います。詳しくはソフトフォンのマニュアルをご参照ください。



項目名称	機能説明
オンライン	端末情報を登録し、通話できる状態にします。
不在	端末情報は消さずに、着信に対して話中応答します。
オフライン	端末登録情報を削除し、着信しないようにします。

11. ソフトウェアの更新

11-1. アップデート確認



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「**アップデート確認**」の項目をクリックすると、更新用ページに Web アクセスを行い、本アプリケーションの新しいバージョンが公開されていないか確認します。

アップデート確認は、設定によりアプリケーション起動時に自動的に行うこともできます。

11-2. 最新バージョンにアップデート



新しい版が見つかった場合、バージョンアップダイアログを開き、更新内容を表示します。

[インストール]を選択すると、最新版をダウンロードして更新を行います。

「次回はこのメッセージを表示しない」にチェックを入れると、次回から起動時のアップデート確認を行いません。再度起動時に確認するようにしたい場合は設定画面(5-1 項)で設定を変更してください。



現在のソフトウェアが最新である場合はその旨が表示されます。

12. ソフトウェアのバージョン情報表示

12-1. バージョン情報を表示する



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「バージョン情報」の項目をクリックすると、現在使用中の着信ポップアップソフトウェアのバージョン情報が表示されます。



項目名称	機能説明
バージョン	使用中のソフトウェアのバージョンを表示します。

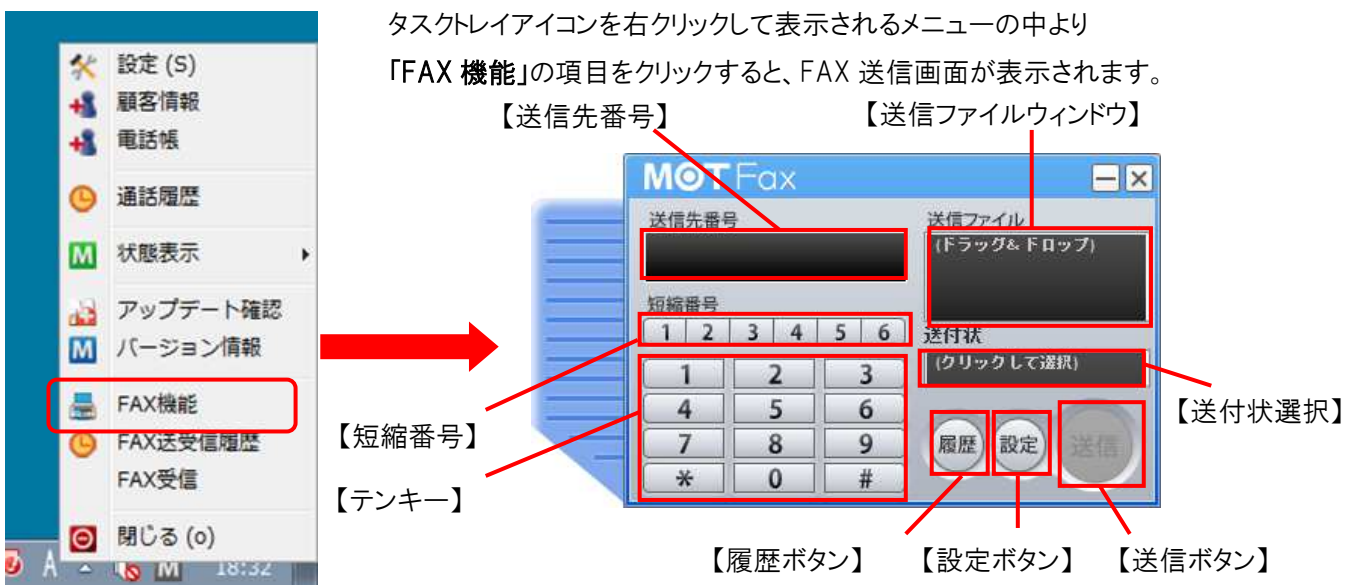
13. FAX 送信機能

MOT/PBX M-V1,M-V1+B、MOT/PRO、MOT/Mini と連携することにより、FAX専用機を使わずにPCを利用した、一般公衆網内のFAX機へFAX送信を行う事が可能となります。FAXを送信する為には、専用の送信機能からダイヤルを行います。

※FAX機能の設定が必要となります。(5-3 項参照)

※本機能は MOT/PBX では利用できません。MOT/PBX M-V1,M-V1+B、MOT/PRO、MOT/Mini のみ提供される機能です。

13-1. FAX 送信ウィンドウの表示



タスクトレイアイコンを右クリックして表示されるメニューの中より「FAX 機能」の項目をクリックすると、FAX 送信画面が表示されます。

【送信先番号】

【送信ファイルウィンドウ】

【短縮番号】

【送付状選択】

【テンキー】

【履歴ボタン】

【設定ボタン】

【送信ボタン】

項目名称	機能説明
送信先番号	FAX の送信先番号を入力します。画面上のテンキー、またはキーボードの数字キーによって入力します。
送信ファイル	FAX 送信するファイルをこの領域にドラッグ&ドロップします。 ※送信できるファイルは、PDF または TIFF 形式のみです。 ※用紙サイズは A4 のみとなります。またカラーFAX は未対応です。
送付状	送信する FAX に添付する送付状を選択します。あらかじめ MOT/PBX に登録した送付状ファイルか、PC 内の PDF または TIFF 形式ファイルを指定できます。
短縮番号	ボタン毎に登録した番号を、ワンクリックで送信先番号欄に設定します。
テンキー	テンキーを利用して FAX 送信先番号を入力する場合に使用します。
履歴ボタン	FAX 送信履歴を表示します。履歴から送信先番号を選択することができます。
設定ボタン	設定画面(5 章)を表示します。
送信ボタン	入力した FAX 番号に対してファイルを送信します。



- ①FAX 機能を利用するには、MOT/PBX+送信用アカウントが必要です。
- ②ひかり電話の契約(FAX専用番号を最低1個用意)が必要です。
- ③送信可能なファイルはPDF または TIFF 形式のみです。
- ④送信可能なファイルサイズは 3Mbyte 迄、用紙サイズはA4のみとなります。



送信用の PDF ファイルに、「埋め込みサブセット」で無いフォントが使用されている場合、MOT/FAX 送信時にフォントが変わる場合があります。
この場合、PDF ファイル作成時にフォント埋め込み指定を「全てのフォント」にする等して作成して下さい。

13-2. 送信先 FAX 番号の入力

送信先番号欄に相手のFAX番号を入力します。入力には、以下の3つの方法があります。

1)テンキーによるダイヤル

テンキーを押す事で「**送信先番号**」に押した番号が表示されます。

2)短縮番号によるダイヤル

短縮番号ボタンにあらかじめ番号を登録しておく、ワンクリックで送信先を自動的に「**送信先番号**」へ表示することができます。

3)送信履歴クリックによるダイヤル

「**履歴**」ボタンを押すと、送信履歴が表示されます。

送信履歴をクリックする事で、「**送信先番号**」へクリックした番号が表示されます。

入力後、「送信」ボタンを押すと「**送信先番号**」に表示されている番号へFAXを送信します。

13-3. 短縮番号の登録

以下の手順で、短縮番号ボタンに番号を登録します。



①短縮番号の設定

登録したい短縮番号を右クリックすると、設定ウィンドウが表示されます。

※番号が登録されていない場合は左クリックでも設定ウィンドウが表示されます。



②番号と名称を入力します。

Enter キーを押すか設定ウィンドウ外をクリックすると、入力値を保存してウィンドウを閉じます。



■短縮番号の表示

短縮番号が登録済みのボタンにマウスカーソルを当てると、登録した[名称]が表示されます。ボタンを右クリックすると設定番号が[送信先番号]欄に設定されます。

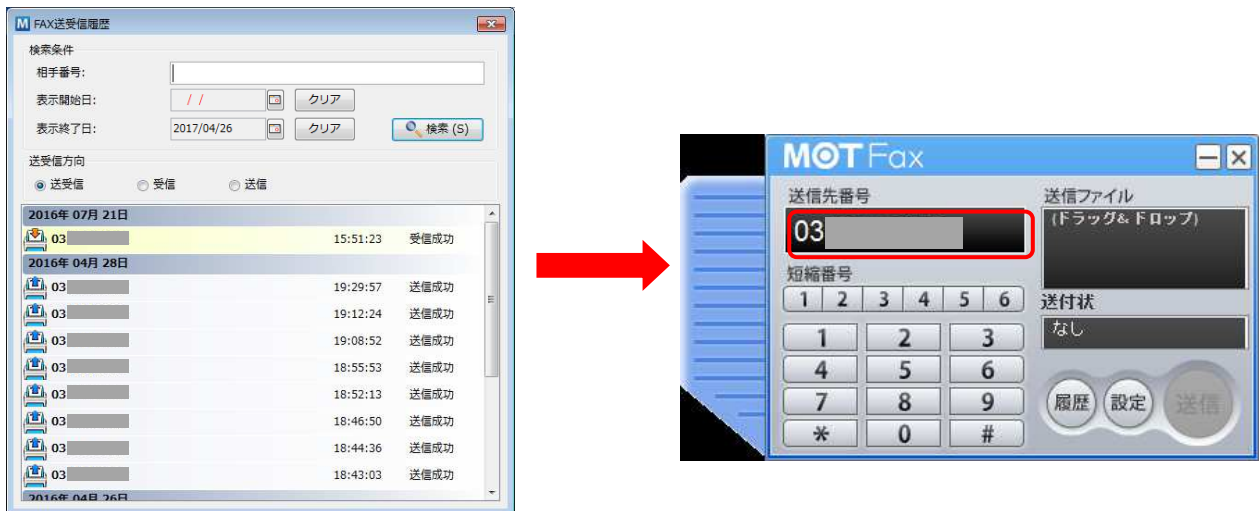
13-4. FAX 送受信履歴ウィンドウ

タスクトレイアイコンを右クリックして表示されるメニューの「FAX 送受信履歴」、または FAX 送信画面の[履歴]ボタンを押すと、FAX 送受信履歴画面が表示されます。



■履歴選択発信

送受信履歴の番号をクリックすると、FAX 送信画面の[送信先番号]に設定することができます。



13-5. FAX 送付状を添付する

事前に MOT/PBX に登録した送付状一覧から選択したファイル、もしくは PC 内のファイルを、FAX 送付状として送信ファイルに添付することができます。



- ① 送付状選択画面の表示
[送付状]の欄をクリックして、選択画面を表示します。



- ② 送付状の選択
添付する送付状を選択し、[設定]ボタンを押すと、[送付状]の欄に、選択した送付状の情報が表示されます。

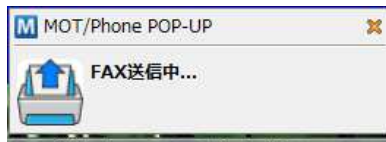
項目名称	機能説明
送付状の選択	添付する送付状の種別を選択します。
なし	送付状を添付せずに送信します。[送付状]欄には「なし」と表示されます。
PBX 内の送付状利用	MOT/PBX に登録された送付状ファイルを添付します。 登録済みファイル一覧が表示されますので、添付する送付状を選択し、[設定]ボタンを押します。 [送付状]欄にはファイル名が表示されます。
ファイル添付	PC 内の PDF または TIFF ファイルを送付状として添付します。 送付状ファイルをウィンドウ上にドラッグ&ドロップし、[設定]ボタンを押します。 [送付状]欄にはファイルのパスが表示されます。

13-6. FAX 送信

[送信先番号]と[送信ファイル]が設定されると、[送信]ボタンが有効になります。

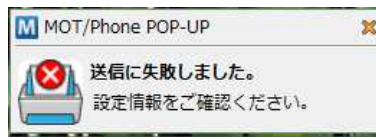
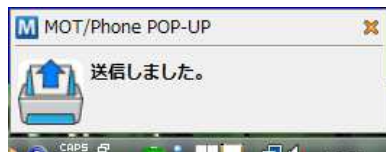


【送信押下】



【成功】

【失敗】



- ① 13-2 項の1)～3)の方法で[送信先番号]相手のFAX番号を表示させます。
- ② [送信ファイル]ウィンドウにFAX送信したい PDF ファイル、もしくは TIFF ファイルをドラッグアンドドロップします。(ファイルパスが表示されます。)
- ③ [送信]ボタンを押すと、入力した送信先番号に対してファイルを FAX 送信します。
- ④ 送信を実行すると[送信中]メッセージが画面右下にポップアップします。
- ⑤ 処理完了後、送信結果が再度ポップアップします。
- ⑥ 送信に失敗した場合は、以下の失敗通知が表示されます。

14. FAX 受信機能

MOT/PBX M-V1,M-V1+B、MOT/PRO、MOT/Miniと連携することにより、FAX専用機を使わずにメールもしくは本ポップアップでFAXデータを受信することが出来ます。

ポップアップが提供するFAX受信機能は以下です。


1)FAXを受信時の通知

2)FAXデータを受信

- ・通知時手動受信……ポップアップ通知時に都度手動で取得します。
- ・通知後手動受信……手動で受信しているデータを一括でPC側に取得します。
- ・自動受信……自動的に受信したFAXデータをPC側に取得します。

※FAX機能の設定が必要となります。(5-3 項参照)

※本機能は MOT/PBX+、MOT/MED、MOT/PRO、MOT/Mini と接続する場合のみ使用可能です。

 カラーFAX は未対応です。

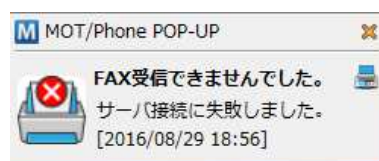
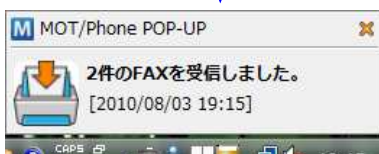
14-1. 通知時自動受信



【ダウンロード押下】

【成功】

【失敗】



「自動受信設定」を「しない」にしている場合、FAX 受信時には受信通知メッセージがポップアップします。メッセージ内のダウンロードボタンをクリックすると、POP サーバから FAX メールをダウンロードし、所定のフォルダに保存します。



保存先フォルダが設定されていない場合はダウンロードボタンが表示されません。保存先フォルダを設定後に 14-2 項の手順で FAX の手動受信を行い、FAX メールを取得してください。

- ①[ダウンロード]ボタンを押すと、FAX メールをダウンロードします。
- ②処理完了後、受信結果が再度ポップアップします。

③受信に失敗した場合は、以下の失敗通知が表示されます



FAX メールが遅延により、「受信 FAX がありません」となる場合があります。この場合は 14-2 項の手順で FAX の手動受信を行い、再度 FAX メールを取得してください。

14-2. 手動受信



【FAX 受信押下】

「自動受信設定」を「しない」にしている場合や、「自動受信設定」を「する」にしている場合でも受信済データが残っている場合（休止中に受信したデータ）など、サーバに蓄積しているFAXデータを強制的に取得します。

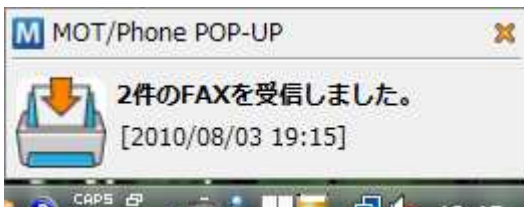
手動でFAXを受信したい場合は、タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「FAX 受信」の項目をクリックします。

①[FAX 受信]ボタンを押すと、FAX メールをダウンロードします。

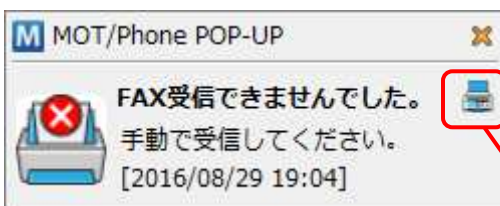
②処理完了後、受信結果が再度ポップアップします。

14-3. 起動時自動受信

自動受信設定を「する」にしている場合は、アプリケーション起動時に自動的に受信 FAX の確認、ダウンロードを行います。



自動受信設定を「する」にしている場合、FAX 受信時に自動的にファイルをダウンロードします。ダウンロード完了後、受信の通知メッセージが画面右下にポップアップします。



FAXメールの遅延により、「FAX 受信できませんでした」となる場合があります。その際には、[ダウンロードボタン]を押して再度FAXメールを取得してください。

【ダウンロード押下】



FAX 機能を利用するには、MOT/PBX+送信用アカウントが必要です。
ひかり電話の契約(FAX専用番号を最低1個用意)が必要です。

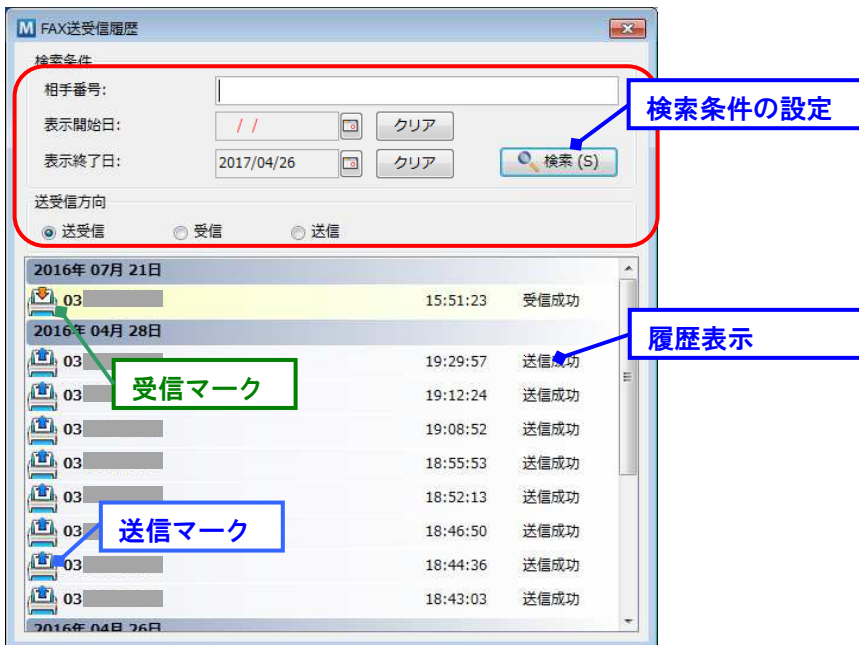
15. FAX 送受信履歴



タスクトレイアイコンを右クリックしてメニューを表示し、「FAX 送受信履歴」の項目をクリックすると、FAX の送受信履歴ウィンドウを表示します。
 FAX送受信の通話履歴を60件まで一覧表示します。

■送受信履歴ウィンドウ

送受信履歴ウィンドウは相手番号や送受信の方向、表示日により表示する履歴を絞り込むことが可能です。
 また、履歴をダブルクリックすると、送信または受信したファイルを表示します。



項目名称	機能説明
検索条件	
相手番号	入力した番号に対する送受信履歴を表示します。(前方一致)
表示開始日	この日以降の送受信履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
表示終了日	この日以前の送受信履歴を表示します。[クリア]ボタンを押すとクリアされます。
送受信方向	選択された方向の送受信履歴を表示します。
履歴表示(履歴はローカルPCに保存されます。)	
日付	送受信日です。ダブルクリックすると当日の履歴全てを表示/非表示にできます。
履歴エントリ	FAX1 通分の履歴です。ダブルクリックすると送受信したファイルを表示します。
アイコン	送信または受信の方向を示すアイコンです。
相手番号	FAX の送受信先である相手番号を表示します。
送受信時刻	送受信の開始時刻を表示します。
状態	FAX 送受信の結果を表示します。

16. 仕様

電話機能系	
呼制御プロトコル(SIP)	RFC3261 ベースの独自仕様(サーバ側として MOT/PBX 以外の接続不可) MOT/PBX と接続する電話クライアントのセッション中継処理
音声制御機能	未対応(配下端末にて RTP セッションを直接張る)
対応 OS	Windows 7(32/64bit)、Windows 8(32/64bit)、Windows 10(32/64bit)
接続先	MOT/Phone PC 版、NAKAYO ST101A SAXA IP-NetPhone SX、SAXA IP-NetPhone SX II
JVM	JRE6 Update 18～、JRE7、JRE8(本ソフトウェアは Java を利用しております。)
推奨スペック	CPU: Intel Pentium4/Core 2 Duo:/Core Solo 1GHz 以上推奨 メモリ: 1GB 以上推奨(電話クライアント推奨環境)
利用番号数	2アカウント迄(手動切り替え方式)
その他 アドレス設定等	電話機 SAXA IP-NetPhone または NAKAYO ST101A を利用する場合は、PC に 固定アドレスを付与する必要があります。
NAT 下での利用	可能(STUN 機能+MOT/PBX 側の NAT ヘルパー利用)
通話履歴件数	200 件×5 ファイル
FAX 機能系	
送受信履歴件数	20 件×3 ファイル

MOT/Phone POP-UP 操作・設定ガイド

2017年12月19日 第1.40版

株式会社オフィス24